

令和4年第1回那須烏山市議会3月定例会（第5日）

令和4年3月7日（月）

開議 午前10時00分

散会 午後 4時48分

◎出席議員（16名）

1番	青木敏久	2番	興野一美
3番	堀江清一	4番	荒井浩二
5番	福田長弘	6番	村上進一
7番	矢板清枝	8番	滝口貴史
9番	小堀道和	10番	相馬正典
11番	田島信二	12番	渋井由放
14番	沼田邦彦	15番	中山五男
16番	高田悦男	17番	平塚英教

◎欠席議員（なし）

◎説明のため出席した者の職氏名

市長	川俣純子
教育長	田代和義
会計管理者兼会計課長	澤村誠一
総合政策課長	菊池義夫
まちづくり課長	大谷光幸
総務課長	佐藤博樹
税務課長	高濱裕子
市民課長	大谷啓夫
福祉事務所長兼健康福祉課長	皆川康代
こども課長	川俣謙一
農政課長	深澤宏志
商工観光課長	小原沢一幸
都市建設課長	佐藤光明
上下水道課長	高田勝
学校教育課長	大鐘智夫

生涯学習課長

水 上 和 明

◎事務局職員出席者

事務局長

菊 地 唯 一

書 記

大 貫 厚

書 記

藤 田 真 弓

○議事日程

日程 第 1 議案第1号～第8号 令和4年度那須烏山市一般会計・特別会計・水道  
事業会計予算について ※質疑～委員会付託

日程 第 2 決議案第1号 ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議について  
(議員提出)

---

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

[午前10時00分開議]

○議長（渋井由放） 皆さん、おはようございます。  
ただいま出席している議員は16名全員でございます。  
定足数に達しておりますので、ただいまから会議を開きます。  
本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

---

◎日程第1 議案第1号～第8号 令和4年度那須烏山市一般会計・特別会計・  
水道事業会計予算について ※質疑～委員会付託

○議長（渋井由放） 日程第1 議案第1号から議案第8号までの令和4年度那須烏山市一般会計予算、令和4年度那須烏山市国民健康保険特別会計予算、令和4年度那須烏山市熊田診療所特別会計予算、令和4年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計予算、令和4年度那須烏山市介護保険特別会計予算、令和4年度那須烏山市農業集落排水事業特別会計予算、令和4年度那須烏山市下水道事業特別会計予算、令和4年度那須烏山市水道事業会計予算の令和4年度当初予算、8議案を一括して議題といたします。

本件については、去る2月28日の本会議において提案理由の説明が終了しております。

直ちに質疑に入りますが、所管の委員会に関する事項は、委員会審査において質疑をされるようお願いいたします。

また、議会運営に関する申合せにより、質疑の持ち時間を答弁を含めて30分以内としております。30分を超えましたら終了を求めますので、御了解願います。

質疑、答弁は、簡潔明瞭にされるよう、この際申し添えます。

それでは、これより質疑に入ります。

1番青木敏久議員。

○1番（青木敏久） おはようございます。1番青木敏久でございます。

通告に基づきまして、質問させていただきます。

概要版8ページ、関係人口創出事業費、「からすフォーラム」イベントに要する経費の詳細説明をお願いいたします。

同じく概要版8ページ、地域の学校を核とした地方創生事業費、地域課題解決学習「烏山学」、高校生地域定着促進モデル事業に要する経費の詳細説明を願います。

同じく概要版8ページ、JR烏山線利用促進事業費、JR烏山線開業100周年による利用向上啓発に要する経費の詳細説明をお願いいたします。

同じく概要版24ページ、環境保全事業費、前年度より112.2%増の理由について御説

明願います。

同じく概要版27ページ、人権・男女共同参画推進事業費、前年度より102.4%増の理由について御説明願います。

予算書114ページ、スーパーティーチャー育成事業交付金、前年度より38万3,000円増額の理由及び事業の期待される効果について御説明願います。

同じく予算書120ページ及び168ページ、国民健康保険特別会計予算書、熊田診療所特別会計予算書、診療収入の減少に対する処方箋についてお伺いいたします。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 大谷まちづくり課長。

○まちづくり課長（大谷光幸） それでは、まちづくり課からは、4つの案件をお答えいたします。

まず1番、関係人口の創出事業費でございます。関係人口の創出事業費につきましては、令和4年度は29万1,000円を計上させていただきました。

関係人口については、まちづくり課としても、宇大との地域研修等でお付き合いがありまして、そのほかのお付き合いなどがございましたが、令和2年度から、いよいよ関係人口をもうちょっとこ入れしようじゃないかということで、総合調整を託されて、進めているところでございます。

そんな中で、関係人口に係るイベントものとして、八咫鳥の関係のフォーラムをやろうじゃないかと実行委員会の皆さんが言ってくださいますので、検討されているところでございます。

令和4年度は、11月ぐらいにプレのフォーラムをやろうじゃないか。その後、令和5年度になったら本フォーラムをやろうじゃないかというようなことで、これに係る支援のための予算を計上させていただきました。

そこが、からすフォーラムのための講師の謝金、それと、どうしても会場で、にぎやかしのための看板などをつくる、そういった予算を計上させていただいた次第でございます。

なお、このからすフォーラムですが、八咫鳥の振興とともに、JR烏山線の100周年のイベントとしても位置づけさせていただきたいと考えているところでございます。

その次が、地域の学校を核とした地方創生事業でございます。

こちらは、長らく本市で取り組んでいて、成果を上げております烏山学でございます。烏山学につきましては、1年生に対して烏山学、基本となるコース。山あげの体験と、あと選択のコース、8つ、9つ、幾つかコースを設定して、そこに講師さんが入っていただいて事業をやっていく。2年生と3年生は、烏山城の体験とか勉強、それと、3年生になると和紙すき、これを基本コースにして、そのほか選択コースをやっているというものでございます。昨年度は

そばの開発ですとか、大きな成果があったと思います。そちらについての経費が約77万8,000円でございます。

もう一つ、高校生地域定着促進モデル事業でございます。こちら、県は令和2年から4年までの3年間で取り組むとなっております、本市においては、令和3年と令和4年で取り組むというようなことでございます。昨年度については、18人ぐらいの生徒さんが関わってくれたんですが、残念ながら、ワークショップの会議などが、コロナのためになかなかうまくできなかったところでございます。

予算上は、そういう会議の類いを3回ぐらいとか、あとは、先進地の視察などを予定してございます。大体、50万8,000円の予算を計上してございます。

その次のJR烏山線利用促進事業費でございます。こちらは、本格的には令和5年度が100周年になるんですけれども、そのプレということもあって、啓発を令和4年からやらせていただきたいと考えているものでございまして、3月15日にも、お知らせ版で載せるんですけれども、皆さんが烏山線に乗られて、愛好されて、その思い出話を投稿していただいたりとか、あるいは絵画を投稿していただいたり、写真を出していただいたり、あとは保育園生ですとか、小学生、中学生などに呼びかけていって、イベントを少しずつやらせていただきたいと思っております。令和2年度の予算は、少なめではありますが、消耗品が12万円。あと、タペストリーの作成に46万円、ポスターの作成に約20万円弱というようなものを入れさせていただきました。

その次の環境保全事業費でございます。金額が増えてございますが、こちらは自動車騒音の調査。5年に一度、主要な国県道を選んで本格的な現地調査をするというものです。

これをやらせていただくということと、もう一つ、毎回議会からも御質問いただいている公共水域の調査、大腸菌が多いという話をよく質問いただいていたかと思うんですけれども、この大腸菌の調査方法が変わって、より具体的になるということで、金額が上がっているという状況でございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 水上生涯学習課長。

○生涯学習課長（水上和明） 私のほうから、概要書の27ページ、人権・男女共同参画推進事業費の増加の理由を御説明いたします。

令和4年度で、5年間の計画である第1期の男女共同参画計画が終了ということで、4年度中に第2期の男女共同参画計画を策定する予定となっております。その印刷製本費分が増加ということになっております。

以上です。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） 続きまして、予算書114ページ、スーパーティーチャー育成事業交付金144万7,240円、こちら前年度より38万3,000円の増額の理由と、事業の期待される効果ということですが、令和4年度は、福井県福井市を2泊3日で予定をしております。

令和3年度は、小規模校からの参加者は1名ということでしたが、令和4年度では各小学校、各2名ずつを予定しております。随行職員も2名、また、新たに小中学校の校長先生、小学校1名、中学校1名を参加することで予算化をしております。

令和3年度は、秋田市へ行く予算だったことから、交通費の増額と、参加人数が増えたことによる増額となっております。

期待される効果ですが、校長先生も視察に参加し、実際に学力向上に対する取組を学ぶことで、リーダーシップを発揮してもらい、各学校の授業や学力向上に関する取組を見直し、改善する機会となるということが期待されます。

また、多くの教員が実際に見聞きすることで視野を広げ、意識改革を図り、事業の改善等ができ、ひいては市の児童・生徒の学力向上につながるものと考えております。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 大谷市民課長。

○市民課長（大谷啓夫） 私のほうからは、予算書120ページ、168ページ、国民健康保険特別会計予算、熊田診療所特別会計予算の診療収入の減少に対する処方箋についてということでお答えいたします。

こちらについては、ここ二、三年、診療収入の減少がかなり大きくなってございます。こちらについては、コロナ感染症の流行によりまして、受診控えが多々あったことと、また、インフルエンザの予防接種がかなり少なくなっておりまして、そちらについてが診療収入に大きく響いてございます。コロナが落ち着けば、また診療収入のほうが落ち着いてくるのかなということで予想はしてございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 1番青木敏久議員。

○1番（青木敏久） 最初から、関係人口創出事業費、からすフォーラムについて。私はこれはいいことだと思いますので、ぜひこれについては、ネズミがミッキーマウスになったように、また、チョコボールがキョロちゃんという、架空の鳥ですが、そうやって人気になったように、本市の八咫鳥についても、そういうイメージで広く波及し、また商品開発につながるようなイベント、本イベントになるように、企画、運営していただければと思います。

ので、了解いたしました。

2番目の地域の学校を核とした地域創生事業、烏山学については、地域愛、郷土愛を育てるために推進していただきまして、そして、大事なことはフィードバックだと思いますので、昨年のそばバーガーに続いて、高校生の若い力のアイデアをいただいて、フィードバックできるように御指導いただければと思います。

3番目、JR烏山線利用促進事業費については了解いたしました。先日も御説明がありましており、利用が落ちているということなので、その契機になればと思うことで、取り組んでいただければと思います。

また、次の環境保全事業費についても、調査費ということなので了解いたしました。

男女共同参画推進事業費、これについても、印刷製本代ということではありますけれども、この内容についても、人権・男女共同参画ですので、今のウクライナの問題、また、北朝鮮の拉致被害者の問題もありますので、人権については時機を得たものを選んで、啓発をまたしていただければと思います。

その次のスーパーティーチャー育成事業交付金、これについても、福井市、秋田市ということで了解はしたんですが、ちなみに、例えばスーパーティーチャーで秋田市に行って研修されるということですが、秋田市ではどういう研修をしているのかということをお聞きできれば、先進地、秋田市、福井市に行くのは分かりますけれども、その秋田市の教員はどういった研修をされているのか。

また、研修に行かれまして、それを持ち帰ってノウハウが分かれば、本市において秋田市のいい部分を取り入れてできるんじゃないかと。また、研修先は同じところじゃなくて、違うところに行って、多方面の研修ができるんじゃないかと思うところもありますので、その点についてお答えいただければと思います。

最後の診療収入の減少については、インフルエンザの予防接種の減少とか、コロナということがあると思うんですけれども、何かやっぱり株を守りという作業を待つじゃないですけども、待ちの姿勢もあるので、詳しいことは分かりかねますけれども、訪問診療を増やすとか、来なければこちらから出向くとかという、そういった処方箋もあるのかなと思うところがありますので、もし所見がありましたら、その点についてもお答えいただきたいと思います。

以上です。

○議長（渋井由放） 田代教育長。

○教育長（田代和義） それでは、スーパーティーチャー育成事業交付金について、追加質問がありましたので、お答えしたいと思います。

まず、議員の皆様には御礼を申し上げたいと思います。今回はまだ通っていないんですが、

予算が通ると3期目ということになります。

ただ、残念ながら、秋田県につきましては、3年間の計画の中で初年度の1年だけで、あと2年間はコロナ禍で実施できなかったという状況にあります。来年度、福井県にまた戻したのは、はっきり言いますと、両県とも優秀な成績を残している県なんですが、秋田県の場合は若干ブラックボックスというか、正直なところ、なかなか全部見せていただけないところがありました。

福井県は何でもオーケーと、どうぞ自由にやってくださいというような形でしたので、福井県のほうにまた戻させていただく形で計画を作成いたしました。

大きな違いは、秋田県は1日目、研修をさせてもらえないんです。行って、午後から学校を見せていただいて、翌日、指導主事が訪問する学校に行って、あちらの現地の先生方と朝から夕方まで一緒に授業を見て、そして授業に対する感想とか、全てこうあるべきだとかという、そういう会議も全部最後まで出させていただくということなんですが、秋田県の場合は、残念ながら、初日は学校に迷惑がかかるので勘弁してくださいみたいな話が出てきて、少し遅めに10時頃とか11時頃にこちらを出るというので、ちょっと時間的に無駄が多いということで、福井県はこちらは早く、6時台の列車で行って、午後からもう既に1日あちらの学校を見られるということだったものですから、そのように変えさせていただきました。

一番のメインでよかった点は、参加した先生方のモチベーションが非常に上がって、戻ってからの御自分の授業方法その他研究もそうなんですが、同じ名前でスーパーティーチャー研修ということで、市役所内でもやっていますので、そこでの、こういうことがありましたとか、こんなふうにしたほうがいいですよという自分たちが学んできたことの伝達、そういったことで、ほかの先生方に対する波及効果も非常に大きかったというふうに感じております。

今後、また福井県のほうに行きまして、先生方のモチベーションをさらに上げて、効果を上げていきたいと。中学校のほうの成績が若干上がり、やっと去年あたりから上がってきたのが事実なんですが、何回もお話ししているように、小学校は非常に成績が全国レベルを超えているというようなどころになってきていますし、中学校も、それにかかなり近づいてきているという状況にありますので、今後さらなる子供たちの資質向上、職員の資質向上も併せて進めていけるんじゃないかと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○議長（渋井由放） 大谷市民課長。

○市民課長（大谷啓夫） それでは、私のほうから、訪問診療等があるのではということでお問い合わせをされましたので、今、熊田診療所のほうでは企業の産業医とか、また、いろいろな施設の嘱託医ということで、何件か掛け持ちをしております、そちらのほうでの収入もございますので、そういったところを広げるような形で検討できればと考えております。

以上です。

○1番（青木敏久） 了解しました。以上です。

○議長（渋井由放） 次に、2番興野一美議員。

○2番（興野一美） おはようございます。私の質問は、全て概要版から質問いたします。

まず、8ページ、チャレンジショップの整備補助、1,075万円の事業内容について伺います。

同じく8ページ、消防団の団員報酬は、個人口座振込とありましたが、出勤報酬についても同じかどうかを伺います。

次に、24ページの八溝そばブランド力向上支援事業費、325万円から25万円の減額の理由を伺います。

次に、25ページの新規就農総合支援事業費、150万円の減額の理由を伺います。

同じページで、林道維持管理費、764万8,000円増額の理由を伺います。

同じページの商工団体支援事業費、1,045万円の増額の内訳を伺います。

26ページの清水川せせらぎ公園管理費、488万円の増額の理由を伺います。

同じページの防災無線管理費、2万3,000円から474万円の大幅な増額の理由を伺います。

以上です。

○議長（渋井由放） 小原沢商工観光課長。

○商工観光課長（小原沢一幸） 概要版8ページ、チャレンジショップの整備補助について、事業内容について御説明します。

こちらは、市内の空き店舗をチャレンジショップとして改修しまして、そこを創業間もない事業者到低額の家賃で貸し出すとともに、必要な助言、指導を受けられる伴走型の支援体制を組むことで、入居者の開業の実現可能性を高め、将来にわたって安心して働ける環境の確保、魅力ある創業機会の創出、さらには中心市街地のにぎわいの創出につなげようというものでございます。

事業主体は商工会となりますが、その整備及び運営に関しましては、商工会のほか、市及び烏山信用金庫などで構成する運営委員会で方針を決定することとしております。

市は、その必要経費の一部を補助金として交付することになりますが、その原資の多くは、信金中央金庫様から御寄附、企業版ふるさと納税、こちらにより賄うこととしております。

続きまして、概要版25ページ、商工団体支援事業費の増額の理由でございますが、増額分に関しては、ただいまのチャレンジショップの整備補助事業分の増額となっております。

以上になります。

○議長（渋井由放） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 概要版8ページ、出勤報酬、これにつきましても個人口座への振り込みとなります。

それと、概要版、26ページ防災無線管理費、これの増額の理由でございますが、令和3年度当初におきましては、アナログの防災行政無線の保守管理等の事業費を載せてございませんでしたが、継続となったことから、補正予算にて昨年度は257万8,000円ほど計上させていただきました。

今年度につきましては、その予算計上と併せて野外拡声機局の修繕、バッテリー交換がどうしても必要になることから、165万円ほど増額して、予算計上してございますので、それをトータルして概要版の数値の増額の理由となっております。

以上です。

○議長（渋井由放） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 私のほうからは、概要版24ページの八溝そばブランド力向上支援事業費及び25ページ、新規就農総合支援事業費、林道維持管理費について御説明申し上げます。

まず、八溝そばブランド力向上支援事業費でございます。こちらにつきましては、本市の特産物の一つであります八溝そばの知名度を向上させ、良質なそばの安定供給を図ることを目的としまして、向上させる事業となっております。

本事業の最大のイベントであります八溝そば街道そばまつりについては、新型コロナウイルスの影響ということで、令和2年度、3年度が開催できずにおりました。

令和4年度につきましても、いまだ新型コロナウイルスの感染拡大が終息しないということもありまして、開催に当たりましては、本年1月に、那珂川町、茂木町、市貝町、これは八溝そば街道推進協議会の構成市町でありますけれども、三町を加えて、また、そばまつり実行委員会事務局であります那須烏山市観光協会と、令和4年度の開催について協議をさせていただきました。

開催においては、感染対策等の課題が非常に多いということで、令和4年度のそばまつりについては、次年度も見送るということで、このそばまつりに対する経費300万円でございますけれども、こちらを減額させていただいたところでございます。

続きまして、概要版25ページの新規就農総合支援事業費でございます。この事業につきましては、新規就農者の営農意欲の喚起、また、就農後の経営の安定、定着を図ることを目的に、国の事業、または市の事業を活用して、新規就農者の支援を行ってございます。

国の事業であります農業次世代人材投資事業、1年で年額150万円を交付される事業でご

ございますけれども、この交付期間が5年ということで、昨年まで1名の方がこの事業を活用してございましたけれども、交付期間終了に伴いまして、この150万円を減額する内容となっております。

続きまして、林道維持管理費でございます。林道の維持管理につきましては、市内に林道が18路線ございます。この林道の草刈り、側溝の整備、修繕、倒木処理等を行う事業でございますけれども、令和4年度につきましては、5年に一度の林道にかかる橋梁が9か所ございますが、その点検を実施するために、業務委託料として761万1,000円を計上したことに伴う増額となっております。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） 予算概要26ページ、清水川せせらぎ公園管理費、879万5,000円、増が488万9,000円の理由でございます。

まず、清水川せせらぎ公園を整備するに当たりましては、敷地の大部分が県管理の清水川の河川区域でございますので、そちらの河川占用につきまして、栃木県烏山土木事務所との協議が必要になります。その占用許可申請を行うための業務委託ということで計上いたしております。

そのほかに、施設内の植栽の管理委託につきまして、業者をお願いをしておりますが、こちらの使用薬品、燃料費の高騰によりまして、委託料が増額となります。

また、施設修繕としまして、Bゾーンの女子トイレの修繕に合わせまして、便器の洋式化を実施する予定でございます。

また、令和3年度から施設のトイレ等の管理を障害者優先調達を使いまして、施設の方をお願いをしております。こちらにつきまして、雇用の機会を増やすために4名分を確保しました。これらを合わせまして488万9,000円ということになります。よろしく願いいたします。

○議長（渋井由放） 2番興野一美議員。

○2番（興野一美） それでは、最初から再質問させていただきます。

チャレンジショップの整備事業なんですけれども、もうこれは空き店舗の決まったところがあるかどうかを伺います。

それと、次に、消防団の出動報酬なんですけれども、以前は部まとめて振り込みだったので、お化け的な出動もあったとは思うんですけれども、これからは、そういうこともなくなるかと思っています。今後は、部の再編、統廃合をしっかりとやっていただきたいと思います。これは要望です。

それと、そばまつりのことなんですけれども、今はコロナ禍で開催できないということなんですけど、秋祭りなんかも今回も予定されていないので、秋の頃になれば、開催できる、できないはその時期になってみないと分からないと思うんですけれども、もう早々中止ということは、少しもったいないような気もするんですけれども、このことについて伺います。

それと最後にもう一度、26ページの防災無線、アナログの無線が継続になったということなんですけれども、分かる範囲内で結構ですけれども、何年度まで延長できるか伺います。

以上です。

○議長（渋井由放） 小原沢商工観光課長。

○商工観光課長（小原沢一幸） チャレンジショップの整備箇所についてでございますが、現在、有力な候補地はありますが、まだ契約に至っていないところなので、具体的なところは差し控えさせていただきます。

以上です。

○議長（渋井由放） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 八溝そばまつりの秋の時期あたりの開催という御質問でございます。5月の開催においては、既に中止ということで決定させていただきました。

秋祭りについても、開催がないという状況において、抱き合わせでやるという話だとは思いますが、なかなか、そばまつりの場合には、飲食を伴うというのが最大の課題になってございます。

また、水の問題等もございますので、その辺については、十分に検討させていただいて、開催時期と開催場所等、もしできるような状況になれば、ちょっと考えてはみたいと思うんですけれども、次年度については、今のところちょっと開催の予定はないという回答にさせていただきます。よろしく申し上げます。

○議長（渋井由放） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 26ページの防災無線管理費の中のアナログ無線の延長の件なんですけど、現段階では当面の間という、法律改正によって延長されておりますので、何年かというのは、今の段階ではちょっと分からない状況でございます。

○2番（興野一美） 了解しました。終わります。

○議長（渋井由放） 次はございますか。

3番堀江清一議員。

○3番（堀江清一） 私は概要版で7項目、予算書で1項目の質問をさせていただきます。

まず、概要版の5ページ、不妊治療助成費ということで、令和4年度は何件ぐらいを予定しての金額なのかということ。

同じく5ページ、学校給食センター運営費ということで、これは多分2,000円の助成をすることなのかなと思うんですが、単年度事業なのかどうかというのを伺います。

同じく5ページ、保健衛生総務費、これは病院に対してだけなのかというところをお伺いします。

続いて6ページ、中学生海外派遣事業費について、令和4年度は行えるのか、行うのか、その辺をよろしくお伺いします。

続いて7ページ、基幹系システム管理運営費ということで、基幹系システムって具体的にどんなものなのか。

続いて8ページ、まちづくり団体支援事業費、具体的に内容をお伺いします。

同じく8ページ、市税徴収事務費、これも具体的な内容をお伺いします。

それと予算書65ページ、ごみ減量化推進費、これも具体的な内容をお伺いします。

以上です。

○議長（渋井由放） 川俣こども課長。

○こども課長（川俣謙一） 概要の5ページ、不妊治療助成費、何件を予定しているかということですが、こちらは保険適用外の不妊治療で、治療費の2分の1を助成しているところですが、令和4年度につきましては、各種治療法がございますが、合計で12件、162万円を予算計上しております。

以上です。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） 続きまして、概要書5ページ、学校給食センター運営費、助成は単年度の事業かということですが、予算上は新規の事業となっておりますけれども、令和3年9月からコロナ禍の中、経済が停滞し、家計が苦しくなっている世帯が増えていることから、保護者の負担を少なくしようと取り組んでいる事業でございます。毎月2,000円の補助を出しているものでございます。

こちら、令和4年度は予算計上したんですが、その後、継続するか否かは、コロナ禍の状況を鑑みながら、協議し、判断をさせていただきたいと思っております。

続きまして、概要版6ページ、中学生の海外派遣事業、今年を行うのかということですが、実施したいと考えてはいるんですけれども、やはり世界的なコロナ禍の中、それと、刻々と変わる世界情勢の中でありますので、派遣する時期等の、そういった世界的な状況にもよりますので、その都度、実施の時期等も含めて、判断をさせていただきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 皆川健康福祉課長。

○健康福祉課長（皆川康代） 私のほうからは、概要版5ページ、保健衛生総務費、4億9,502万7,000円の内訳でございます。

まず、負担金といたしまして、県の各団体への市の負担金でございます。こちらが15万4,000円。こちらは、栃木県市町村保健師業務研究会、栃木県がん集検協議会、栃木県公衆衛生協会費、それから県の医師会、県の歯科医師会、この5団体に、合計で15万4,000円でございます。

そのほか、補助金といたしまして、一部事務組合負担金4億9,487万3,000円でございます。こちらが南那須地区広域行政事務組合に支払いをいたします負担金でございます。

この内訳ですけれども、在宅当番医制の調整費としまして549万8,000円。那須南病院運営費広域負担金といたしまして、4億8,911万8,000円。そのほか、小児救急医療拠点病院運営費として25万7,000円でございます。

この負担金ですけれども、南那須地区広域行政事務組合によりまして、各負担項目の基準割合によって算出されております。それが、那珂川町、那須烏山市に振り分けられているというものでございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 大谷市民課長。

○市民課長（大谷啓夫） 私からは、基幹系システムとは何かについてお答えいたします。

基幹系システムは、住民基本台帳システム、それから戸籍に関するシステムになります。

以上です。

○議長（渋井由放） 大谷まちづくり課長。

○まちづくり課長（大谷光幸） それでは、私から、まちづくり団体支援事業費、概要版の8ページについて、まずお答えをいたします。

まちづくり団体の支援事業費につきましては、今年度は128万9,000円となっておりますが、ここで一番大きな金額になってございますのは、御存じのまちづくりチャレンジプロジェクトでございます。100万円となっております。50万円で団体2つを募集しているところです。

今回のテーマは、少子化ですとか観光振興とか、いろいろなテーマ以外にも特別にお願いしたいテーマとして、トピックスでありますJR烏山線の100周年関係のプロモーションをお願いしたいということと、あと、こここのところ、一生懸命やらせていただいているシティプロモーション、この2つを特定のテーマとさせていただいております。

それ以外のお金については、まちづくり団体の活動を活性化するために、昨年度からプラッ

トフォーム会議というのをやらせていただいています。土台となるような円卓の会議でござい  
ますが、この会議をやりながら、例えば講師にお話を聞かせていただいたり、また、まちづく  
り団体の皆さんが、例えば、市内を、桜を見る会みたいな方々が、時々、市内を散策されたり  
という、そういうようなことを支援できる予算を入れてございます。

それと、私どもまちづくり課のことでございますので、予算書の65ページ、ごみの減量化  
の推進費についても説明させていただきます。

概要版の24ページにも記載してございます。こちらは今年度の予算といたしまして、  
77万7,000円と少し増やさせていただきました。これは、従来からやってございます資  
源ごみの回収の報奨金です。団体さんが、資源ごみを回収してくださるときに、1回  
1,000円。それと、アルミ缶ですとかスチール缶を集めていただくと、1キロに対して  
4円というものを交付させていただいています。

以前は、育成会なんか結構やってくれたんですけど、このところ、随分、活動が少なく  
なってきたので、福祉団体ぐらいにしか今のところやっていただけていないんですけ  
れども、それでも分別が随分進んでいるみたいなので、量が増えておりまして、その結果、金  
額が増えてございます。ありがとうございます。

もう一つが、ごみ処理機の補助でございます。従来から、機械式の補助、1台2万  
5,000円というのをやらせていただいていたのですが、去年、令和2年度に一般廃棄物の処  
理の基本計画をつくったときに、委員の皆さんが、ぜひコンポストの補助を下さいと強く言  
っていただきましたので、1台3,000円ということで補助をさせていただくこととさせて  
いただきました。

以上です。

○議長（渋井由放） 高濱税務課長。

○税務課長（高濱裕子） 私からは概要版8ページ、市税徴収事務費1,148万  
4,000円、こちらの具体的な内容について説明させていただきます。

こちらは、市税の収納及び徴収に関する経費となっております。共通納税の項目が、今まで  
は個人市民税と法人市民税のみでしたが、令和4年度からは固定資産税と軽自動車税も該当に  
なります。その準備のためのシステム改修費となります。

そのほかに、納付書にQRコードも印刷になりますので、そちらのシステム改修費もありま  
す。通常の間費としましては、コンビニ収納ソフトレンタル料、口座振替手数料、督促状の印  
刷などがあります。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 3番堀江清一議員。

○3番（堀江清一） 不妊治療助成費で12件を予定しているということですが、自分の感覚での話なんですけれども、不妊治療をするに当たって助成を申請するということが、意外と、子供がなかなかできないということで、ちょっと恥ずかしくなって、なかなか申請をできないというような方が一部聞こえたものですから、これは大いに市としてバックアップしますよということをどんどんPRしていただいて、人口が増えるということではないんでしょうけれども、そこに幾らかでも関わるようにしていただきたいなと思います。

学校給食センターの運営費ですけども、去年の9月からやられているということですが、先がまだ見通せないで、いつになるか分からないということでありましたけれども、ここへ来て、ウクライナで戦争が始まって、石油価格も上がり、物価も上がり、多分、子育て世代にかなり大きな打撃を与えられていると思います。

2,000円の助成は大変よいことかなと思います。しかしながら、給食費をこの4月からですか、300円ほど上げるという案件がありました。その件に関しては、私は絶対反対であります。延期をしていただきたいと思います。

次に、保健衛生総務費。これは南那須地区広域行政事務組合に対しての総額の負担ではないですね、病院とかそういう医療関係のものなので。ちなみにですけれども、この広域全体だと、おおよそ幾らぐらいになるのか、自分で調べていなかったものですから、お伺いできればと思います。

中学生海外派遣事業。確かに今、世界がすごく不安定な世の中になっておりますので、これは慎重にしていきたい。ウルトラCで世界が好転して、世の中がよくなったということであれば、行ってもいいのかなと思います。

基幹系システム管理運営費、もうちょっと詳しく聞きたかったんですけども、何と何と言われたんですけども、それに対してのソフトの費用とか、そういった類いなんですか。その辺も詳しく分かればと。

また、まちづくり団体支援事業、大体納得はしました。やはり那須烏山市の知名度というのは非常に低いものがありますので、知名度を上げて、小堀先輩の言葉を借りれば、市民がわくわくするような、前向きになれるようなことをよろしくお願ひしたいなと思います。

市税徴収事務費に関しては了解しました。

ごみ減量化推進費、これからどんどん人口が減少しております。そして、さらに分別をすれば、ごみ減量化につながるのかなと思いますので、そういうところを市として多くの市民に周知させていただければと思います。

以上で、再質問をさせていただきましたけれども、ごみ減量化については要望で、市税徴収費に関しては了解しました。

まちづくりに関してもそのようなことでよろしく願います。

保健衛生総務費の総額、これは南那須地区広域行政事務組合に対しての負担がどれぐらいあるのかということ。

それと、基幹系システムに関して、もうちょっと詳しくお願いしたいと思います。

中学生海外派遣に関して、慎重に行っていただければと。

学校給食センター運営費で、要するに、給食費値上げを延期する覚悟はあるのかどうかをお伺いします。

治療費助成に対しては、もうちょっとPRをよろしく願いたいと思います。少しお伺いします。

○議長（渋井由放） 菊池総合政策課長。

○総合政策課長（菊池義夫） 保健衛生総務費の合計の御質問でございます。

令和4年度、本市の広域への負担金の合計額ですが、棒読みしますので控えてください。

1,159,419、11億5,941万9,000円です。そのうち、交付税額の予定は258,907、2億5,890万7,000円が交付税ということで、広域のほうに行きます。以上です。

○議長（渋井由放） 大谷市民課長。

○市民課長（大谷啓夫） 大変失礼しました。基幹系システムは、TKCへの業務委託とか機械の使用料、そちらがほぼメインになってございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） 給食費300円の値上げの件でございます。

過日、全協でも説明させていただきました。石油等の価格の値上げに伴いまして、食材の値上げ等があります。

それと、合併当時から、本市としましては給食費の値上げは一切しておりません。ぎりぎり何とか、児童生徒のカロリーを、何とか今のところ取れているという状況でございますので、やはり300円の値上げは必要なものという判断で、学校給食会のほうで判断させていただきました。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 3番堀江清一議員。

○3番（堀江清一） 大方了解しましたが、学校給食費を値上げしてなくっているということですが、値上げをすると前日も説明を受けましたが、栃木県内の自治体で金額が上位のほうになります。子育て世代、先ほども言いましたが、給食費を値上げしたいということは、

食材が値上がりとか、いろいろ関わっているということではありますが、子育て世代は、もっともっと苦しい思いをしているわけでありまして。

なぜに300円を今の時期に上げる必要があるのか。やはり先ほど2,000円の補助を先、いつ頃までやるかというのは今後の状況次第だということでありましたから、今後の状況がよくなったら、その時点で上げるとか、そういうことを考えるのが市民に寄り添う考えではないかと思っておりますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

延期をするつもりがあるかどうかを、では、よろしくお願ひします。

○議長（渋井由放） 田代教育長。

○教育長（田代和義） 先ほど課長からお話ししたとおりなんですが、私たちの考え方としては、まず、2,000円の補助があろうとなかろうと、現在の4,300円では、給食が、子供たちに対するカロリーその他、維持できないと。

そのためには、実は給食センターの担当からは500円上げたいという話だったんですが、ちょっとそれはあれなので、300円にした都合というのもあるんですが、ただ、今2,000円補助ということで、この2,000円補助と給食費値上げは連動してはいないので、はっきり言いますと、ただ、2,000円補助が、例えば単年度で、今年で切れてしまった場合に、来年突然4,600円になるわけです。

できるだけ、そういう激変緩和ではありませんけれども、ないように、今年2,000円ということですが、来年度は、先ほど課長が申し上げたとおり、状況を見ながら、市長部局と相談しながらやっていくということで、値上げそのものは、補助があろうとなかろうと、上げないと維持できない。

ただ、今は2,000円が補助されているので、300円増えて、小学校のほうは4,600円になるというだけの話で、上げなければ、実際に切れた段階で4,800円とか、そういうふうな突然、二千何百円のアップになってしまう。そのほうが、より打撃は大きいのではないかという気がしていますので、ぜひ値上げを延期するというのではなくて、補助をできれば延ばしていただけるようなことを、私たち学校教育課としては、教育委員会としては考えていますが、それは今後の状況と、財政当局との話になっていきますけれども、給食費の値上げについては2,000円の補助があろうとなかろうと、もう限界であると。本市の状況では、という状況ですので、ぜひ御理解いただきたいと思ひます。

○3番（堀江清一） 終わります。

○議長（渋井由放） ここで暫時休憩いたします。再開を11時05分といたします。

休憩 午前10時54分

再開 午前11時05分

○議長（渋井由放） 休憩前に引き続き再開いたします。

どなたか質疑ありますか。

4番荒井浩二議員。

○4番（荒井浩二） 私からは通告書に従って質問させていただくのと、あと1点だけ、通告外の質問がございます。

まず、順番に概要書のほうから、概要書6ページの教育情報ネットワーク整備事業です。

次に、2年目となるGIGAスクール構想ですが、来年度における事業の課題や改善点についてお伺いいたします。

また、児童用学習端末の管理において、授業で使う際に、充電ができていなかったために、外部講師を招いて行った特別授業等においても、生徒が学習に参加できなかったというような報告を受けております。現場における端末管理や利活用について、その後、どのような改善や指導を行ったか、教えてください。

次に概要書3ページ、八溝そば推進事業についてお伺いします。職員の努力によって、念願かなって八溝そばの商標権を譲り受けて、ブランド展開や市民生活へ今後取り入れていただくために様々な事業が期待されます。新規事業とされるそば打ち体験及びシール作成に要する経費について、具体的な内容を教えてください。

次に、概要書3ページ、新規のトンネル照明（LED）設計業務委託についてお伺いします。こちらはESCO事業として行う計画なのか、あるいは本市独自の事業として行うことになるのか、お伺いいたします。また、財源の内訳について教えてください。

次に、同じく3ページ、新規、水道台帳システムの導入です。こちらのシステムとは、GISとの連携を図っていくものなのか、お伺いします。もしそうなのであれば、いつ頃までに情報が網羅されるのかも併せて教えてください。

次に、同じく3ページ、証明書のコンビニ交付導入、こちらはいつからコンビニで取得できるようになるのか、具体的な開始予定時期をお伺いします。

次に25ページ、元気な森づくり推進事業費と、森林・山村多面的機能発揮対策事業費について併せてお伺いいたします。こちらの各団体数と活動地区、近年の活動概況について教えてください。

また、こちらの元気な森づくり推進事業は、事業期間が5年と限られておりますが、こちらを使ってからの森林・山村多面的機能発揮対策事業への移行は可能か、また、そのハードルや課題について教えてください。

次に、先ほども質問がありましたので、清水川せせらぎ公園の管理費のほうは大丈夫なんですけど、次の一般公園管理費、こちらの増減理由と事業費の内訳について教えてください。

また次に、概要書28ページ、野上体育館管理費。こちらの体育館の屋根の塗装がかなり剥げて、さびてきております。改修の予定について伺います。

また、こちらは以前、村上議員の一般質問などから始まったお話ですけれども、こちらのトイレの水洗化について、進捗も教えてください。

最後にこれは通告していないんですけれども、概要書の6ページになるんですか、ジオパークに関連することで、私は昨年の決算質疑のときにもお伺いしたんですが、それと、先日の小堀議員の一般質問でも、こういった話題が出たんですけれども、ジオパークのジオサイトのほう、こちらの看板設置、何の表示もなくて、市長からQRコードとかをやるみたいな話があったんですけれども、具体的な整備予定の時期などが分かっていたら教えてください。お願いします。

○議長（洪井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） それでは初めに、教育情報ネットワーク整備事業について御説明をいたします。

こちら課題や改善点という御質問ですが、令和3年度、導入初年度ですけれども、事業の前倒しや、コロナ禍の中での、事業を実施しながら改善をしていくという慌ただしい1年でありました。

特に自宅学習でのオンライン授業は双方向のものではなく、ほとんどが一方通行、一方向での授業でありました。また、学校によって、多少、先生の考え方によって温度差が生じておりまして、なかなか全てが同じように、公平に進んでいるというのはできなかったような感じはいたします。

今後は担当の先生方と意見交換を踏まえながら、情報を共有しまして、改善を図ってまいりたいと考えております。

2つ目の質問ですけれども、まず、荒井議員が報告を受けているという案件ですが、こちらにつきましても、年度当初にタブレットを配布後、まだタブレットの設定ができていないときに、熱心な先生がすぐに使いたいということで利用してしまいまして、起きてしまった案件です。先ほど説明しましたとおり、情報共有のなさが起こしたもののかなということ判断をしております。

今後の管理や利活用についてなんですけれども、情報の共有とか研修を通しまして、有効利用するように考えております。具体的には、令和3年度におきましては、授業の支援ソフト、こちらを利用している先生方を対象に研修を行っております。また、自宅へ持ち帰る際のルー

ルづくりもしております。

さらに、今年度、東京都でタブレットを悪用した、いじめの案件がございました。そういった際には、ログインのパスワードの変更等を、こちらから指示をした経緯がございます。そういったことで、導入初年度ということで、まだまだ課題、改善点が多いものでございます。注意しながら、情報共有しながら、取り組んでまいりたいと思います。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 私のほうからは、概要版3ページの八溝そばの新規事業についてお答えしたいと思います。

八溝そばのブランド力向上支援事業につきましては、先ほど興野議員の御質問に答弁しましたように、八溝そばまつりであるとか、これまで市内のおそば屋さんに対する1袋1,000円の補助であるとか、コロナ禍における消費拡大キャンペーン、または、今年度につきましては、畑地で良質なそばを作っていただくということで、畑作推進交付金などを活用しまして、八溝そばのブランド力向上に努めてきたところでございます。

令和4年度からは新たな事業の取組ということで、ちょっと視点を変えまして、事業を行う予定になってございます。

内容としましては、今現在、市民の間でそば打ちをする方がかなり増えてございます。また、烏山高校の生徒が、総合学習の一環としまして、市内のそば店でそば打ち実習なども、おとしより行ってございます。

ですので、こちらにちょっと着目しまして、令和4年度からは、そば打ち体験としまして、こういう方に八溝そばを使ってそばを打っていただいて、その方々に応援隊という形になっていただいて、SNS等で八溝そばのよさを発信していただくのも一つの方法かなと考えてございます。

また、八溝そばという商標権が、今年になりまして、特許庁より那須烏山市に移管されました。念願でありました那須烏山市の八溝そばということで、堂々と商標権を使えることになりましたので、シール等を作成しまして、これまで、直売所であるとか製粉所から販売されるそば粉については、那須烏山市の八溝そばという商標が貼れませんでしたけれども、今後は堂々とそのシールを貼って、広くPRをしたいと考えてございます。

続きまして、概要版25ページの元気な森づくり推進事業費及び森林・山村多面的機能発揮対策事業費でございます。

まず、元気な森づくり推進事業費についてでございます。こちらは、とちぎの元気な森づくり県民税を活用しました里山林の整備、管理を行うものでございます。

令和4年度につきましては、森林組合に委託して行う事業として、田野倉地区、大金地区、鴻野山地区、興野地区で約20ヘクタールの里山林の整備、管理を行う予定となっております。

また、地元の地域組織が自ら行う管理及び整備事業でございますけれども、令和4年度につきましては、6つの組織がその活動を予定することになってございます。月次地区、谷浅見地区、大木須地区、森田地区、下川井地区、野上地区、約77ヘクタールの里山林の整備、管理を行うことになってございます。

また、森林・山村多面的機能発揮対策事業でございます。こちらにつきましても、田野倉地区で3つの組織が6.2ヘクタール、こちらにつきましては、里山林の景観維持活動を行う事業でございます。この田野倉地区の3つが、令和4年度に行う事業になってございます。

御質問の元気な森づくり事業の期間中終了に伴いまして、森林・山村多面的機能発揮対策事業への移行ということもできるかということでございますけれども、地域の組織で合意形成ができれば、事業の乗換えも十分可能となっておりますので、ぜひ有効に、この事業に取り組んでいただければと思っています。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） まず、予算概要3ページ、定住を促し安全で暮らしやすいまちづくり、政策4-2の新規事業でありますトンネル照明のLED設計業務委託、850万円について説明申し上げます。

広域農道八溝グリーンラインの三箇小白井トンネルにつきましては、朝夕はもちろん、交通量の大変多い路線でありまして、かねてより照明が暗く危険だということを、通行者の方、議員の方々から御提言をいただいております。

単独費での改修は難しいことから、何かよい補助事業はないかをずっと見つけておりましたところ、令和元年の東日本台風等、近年頻発します自然災害に対応するため、国から緊急自然災害防止対策事業債という活用が可能との返事を受けましたことから、万一の災害時の際、トンネルでの事故防止の観点から、令和4年度から事業化できることになりました。

財源としましては、こちらの緊急自然災害防止対策事業債の起債を活用しますので、ESCO事業での取組ではございません。令和4年度におきましては、トンネル照明のLED化に向けた設計業務を委託するものでございます。この起債は、充当率が100%、交付税措置も70%という大変有利な起債でございます。

続きまして、概要書26ページ、一般公園管理費7万7,000円でございます。

こちらは、一般公園として管理しております高峰パークタウン内の公園、それから野上台団

地内の公園、こちらの公園の維持管理ということで、遊具の安全点検を行う手数料が5万5,000円、それから公園の維持管理としまして、玉砂利等が必要になります。こちらの原材料費としまして2万2,000円、合わせまして7万7,000円の計上でございます。

よろしく願いいたします。

○議長（渋井由放） 高田上下水道課長。

○上下水道課長（高田 勝） 私のほうは予算の概要3ページ、水道台帳システム導入について御説明いたします。

水道台帳システムとは、GISとの連携を図っていくものなのかというところで、市のGISと連携を図ります。メッシュデータを市のGISに提供いたします。ちなみに、本管の延長は437.5キロメートルとなります。

もう一つ、いつ頃までに情報が網羅されるのかというところですが、令和4年度に水道台帳システムを導入し、令和5年度から情報を反映する予定でございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 大谷市民課長。

○市民課長（大谷啓夫） 私のほうから、概要書3ページ、証明書のコンビニ交付導入の開始予定時期につきまして御説明いたします。

現在、システムの改修等をしておりまして、交付テストも順調に進んでおります。このまま順調に進めば、4月1日から開始ということでできるかと思えます。

以上です。

○議長（渋井由放） 水上生涯学習課長。

○生涯学習課長（水上和明） それでは、私からは概要書28ページ、野上体育館の管理費、それと概要書6ページのジオパークの看板設置の件についてお答えしたいと思います。

まず、野上体育館の屋根の塗装の改修の件ですが、今のところは特に予定はございません。ただ、荒井議員も御承知のとおり、市のほとんどの体育施設の老朽化が進んでおります。特に烏山体育館の老朽化がひどく進んでおりまして、近い将来、使用を中止せざるを得ない状況になっております。野上体育館に関しましては、その代替施設として考えておりますことから、運動施設の統合・再編、集約化、修繕、改修の優先順位を整理させていただいて、検討してまいりたいと考えております。

また、トイレの水洗化ということですが、これもそういったことで、烏山体育館の統合・再編による集約化の中で、併せて検討してまいりたいと考えております。

続きまして、ジオパークの看板設置ですが、まず、早急な対応といたしまして、令和4年度中に文化財の説明看板の設置を数か所で予定してございますので、まずはその中で、ジオパー

ク関係のものも対応できないかどうか、検討させていただきたいと思います。

全体的な看板設置につきましては、まず、どのような場所にどのような看板を設置すれば一番効果があるかとか、そういったことをよく検討させていただきまして、段階的に整備をさせていただきたいと考えております。

以上です。

○議長（渋井由放） 4番荒井浩二議員。

○4番（荒井浩二） 回答、ありがとうございます。

まず、最初のほうの質問から再質問をお願いいたします。

まず、教育情報ネットワークの整備事業のほう、今、課長から支援ソフトを使ったりとか、自宅学習が一方通行にならないような取組について、ちょっとお伺いしたんですけれども、今回、私が先ほど質問させていただいた充電ができていなかったとか、そういったことというのは、もっと基本的な問題で、タブレットを前日から充電できなかったために、子供が次の日の授業に参加できない。しかも、それに教師が気づかなかったというような話も私は聞いていまして、単純に現場単位でのチェック、子供のケアレスミスをカバーするような教師の日常業務の一環なのかなと私は思うんですが、そちらに関して見解をお伺いしたいのと、次に、八溝そば推進事業のほうなんです、今、市民の方で、烏山高校の生徒なんかが、おそば屋さんの鍵とかを借りたりして、そば打ち体験をやっているなんていう話は私も聞いております。

それで、シール作成のほうは、これはブランド認証シールというようなもので考えてよろしいのか。それは今後、例えば直売所とかで販売されるような商品に貼られることによって、ブランドの周知を図っていくようなものなのかというのを確認のため教えてください。

次に、トンネル照明LEDの設計業務委託のほうです。こちらはESCO事業ではなくて、充当率100%の緊急自然災害防止対策事業債のほうでやるということでお伺いしました。

それで、これはもしかしたら、こども課長のほうになるのかもしれないんですが、例えば、今、新規で計画しているような認定こども園とか、そういった新たに造っていくような施設とか、長期利用が見込まれるような公共施設ですね。そういったところに、今後、例えば太陽光を載せて電気料金の削減を図っていくとか、そういったことは計画の中に既に入っているのでしょうか。そこに対して教えてください。

次に、水道台帳システムの導入です。これは令和5年度からの提供ということで、今、説明がありましたが、こちらは、あと幾らくらいかかるものなのか、もし分かれば教えてください。

次に、証明書のコンビニ交付の導入なんです、こちらは4月1日から順調にいけば対応が可能ということなんですけれども、これはもう住民票も、印鑑証明も、全部対応になるのか。予定しているものが全て使えるようになるのかということに関して教えてください。

次に、元気な森づくり推進事業費と森林・山村多面的機能発揮対策事業費のほう、こちらに関して説明は分かりましたので、要望として、こちらの地域の里山だったりとか、里山林を守るために大切な事業なんですけど、結構手続なんかが難しく、現場の方がなかなか分からないという方が多いので、農政課さんのほうで、そういった組織の方に寄り添って御指導をいただければと思います。

次に、清水川せせらぎ公園のほうは了解しました。

野上の体育館のほう、こちらは烏山体育館より、もしかしたら私は利用者が多いんじゃないのかなと、私の家の目の前なので、感じているんですけども、こちらを使っている方が多いので、その方たちの利便性を妨げるようなことがないように、ぜひ管理、改修をしていただければと思います。

最後にジオパークのほうで、もしかしたら今年度中に看板を設置できるかもしれないということだったんですが、併せてこちらにも要望なんですけれども、これは避難所とか、そういったところのピクトグラムもないので、そういう何か緊急性が求められるようなところには、なるべく早く、こういった市内の掲示や看板をすぐつけていただきたいと思いますということをお願いするんですけど、もし何かあればお願いします。

○議長（渋井由放） 田代教育長。

○教育長（田代和義） G I G Aスクール関係ですが、確認しておきますけども、電池切れで、バッテリーが上がってしまったということで、だからといって、その子を、じゃ、君はそっちへ行っていなさいという話ではありませんので、恐らく、学校名は江川小学校ですか。持ち帰りをしているパターンがありますので、そうすると、本人がどこまで使ったかというのは、朝の段階ではできなかったのかもしれない。

ただ、学校によっては、ほぼ自由に持ち帰りをさせていましたので、それについては週3日以内にして、きちんと管理を確認するようというよりも、その他、するようなことで、先ほど課長が申し上げたような規定をつくりました。

それから、その後になりますけど、充電器についても、本来は学校の充電器を外して持っていってもいいんですが、そうすると、また元に戻すといろいろありますので、それぞれ充電器を教育委員会で購入して配布してありますので、今後、そのようなことはないと思います。

以上です。

○議長（渋井由放） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 八溝そばのそば打ち体験でございます。

計画としましては、年9回を予定してございます。市民を対象に6回、烏山高校生を対象に3回ということで、講師料もお支払いしながら、そば打ち体験を、店舗を借りる形になるかと

は思うんですけども、実施したいと思っております。

また、シールにつきましては、荒井議員が御質問のとおり、直売所であるとか製粉所から販売されるそば粉に認証シールを貼りたいと考えてございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 川俣こども課長。

○こども課長（川俣謙一） 認定こども園を造るに当たって太陽光発電のシステムを導入するかどうかなんですが、今後の設計業者選定に向けての中で検討してまいりたいと思います。

○議長（渋井由放） 高田上下水道課長。

○上下水道課長（高田 勝） 水道台帳システム、こちらのほうは令和4年度は本管を入れ込む作業になりまして、令和5年度からおおむね三、四年かけまして、年約1,000万円程度、入力するデータの量にもよるんですけども、1,000万円程度と考えております。

以上です。

○議長（渋井由放） 大谷市民課長。

○市民課長（大谷啓夫） コンビニ交付のほう、証明書について、交付できるものにつきましては、住民票、印鑑証明書、所得証明書、課税証明書、住民税決定証明書の5種類となります。

以上です。

○議長（渋井由放） 4番荒井浩二議員。

○4番（荒井浩二） 教育情報ネットワーク整備のほうなんですが、今、教育長から答弁いただいたんですけども、私が聞いている時点では、結構、比較的最近、何か、最初の答弁では導入したばかりの頃というお話だったんですけども、恐らくこれは2学期に入ってから、そういうことが起きたと私は報告を受けていまして、特別授業を行って、そのときにバッテリーの充電ができていなくて、授業に参加できなかった生徒は6名いたそうです。

前日に、例えば先生がちゃんと充電されているか、充電のランプがついているかとか、そういった簡単なチェックをしていただければ、防げたと思うんです。

また、授業開始前に、先生のほうで各生徒のタブレットの例えば充電状況とか、そういったものをちゃんと確認していただければ、先生が気づかなかったなんていうこともなかったと思いますので、そういった細かいことかもしれないんですけども、生徒がそもそも授業に参加できていないことに気づかないということは、私は問題だと思いますので、そこら辺の改善をしていただければと思います。

八溝そばの件も分かりましたが、今、認定こども園のほう、課長から答弁があったんですけども、これもぜひ入れていただきたいと思いますので、ちゃんと検討のほうを進めてく

ださい。

私の質問は以上です。もし教育長から何かあれば、お願いします。

○議長（渋井由放） 田代教育長。

○教育長（田代和義） ただいまの最後の御説明で詳しく分かりましたので、善処していきたいと思いますので、後で学校名等を教えていただければと思いますので、よろしく申し上げます。

○議長（渋井由放） 荒井議員、よろしいですね。

○4番（荒井浩二） はい。

○議長（渋井由放） 次、ございますか。

5番福田長弘議員。

○5番（福田長弘） それでは、通告書に基づきまして、改めて質問をさせていただきたいと思えます。

今回は全て概要版からの御質問とさせていただきたいと思えます。

まず、概要版の23ページ、高齢者福祉タクシー事業費、昨年度より減額になっているんですが、どのような内容かをまずお伺いします。

続きまして、概要版24ページ、健康づくり事業費。こちらも減額になっているんですが、このコロナ禍等々、健康づくりというのは非常に重要な科目であると思えますので、今年度の具体的な内容についてお伺いいたします。

通告書は、次に八溝そばブランド力向上支援事業費ということですが、先ほど同僚議員からも出ていましたので、大体分かりました。ブランド力向上なので、基本的に継続してやっていただくと、ブランドがしっかりしていくかと思えますので、その辺は継続的によろしくお伺いいたします。

続きまして、概要版24ページ、都市農村交流事業費。これは豊島区さんとの交流事業かと思えます。減額になっております。減額になっているということは、内容も変わるのかなと思ひまして、そのことをお伺いいたします。

続きまして、概要版26ページ、市営野上住宅管理費、増額になった今年度の内容をお伺いいたします。

概要版26ページ、教育情報ネットワーク整備事業費。今、荒井議員もちょっと質問させていただきましたが、私のほうは具体的に、今年度、学校教育ネットワーク機器の保守及び校務システムの経費ということなんですが、具体的な内容についてお伺いいたします。

続きまして概要版27ページ、人権・男女共同参画推進事業費。こちら先ほど青木議員から質問がありまして、大体分かりました。中身で1点だけ、すみません、印刷製本費というこ

となんですけれども、具体的な部数とか、どのような配布方法を考えているのか、お教えいただければと思います。

続きまして、28ページ、烏山公民館の整備事業費、今年度の事業内容についてお伺いいたします。

よろしく申し上げます。

○議長（渋井由放） 皆川健康福祉課長。

○健康福祉課長（皆川康代） では、概要版23ページの高齢者福祉タクシー事業費についてですけれども、こちらの事業費の中には、在宅高齢者に対する移動支援として2つの支援がございます。

まず、1つ目が高齢者福祉タクシー事業でございます。

75歳以上の高齢者世帯に対しまして、税等の滞納がなく、自家用車を所有していない方に対して、タクシー券を交付し、移動支援を行うというものでございます。

タクシー料金の改正があったこと等によりまして、令和3年度より額面を上げたこと、また、交付枚数を見直して、1人当たり1枚500円を月に6枚、前年比で1.3%増として年間3万6,000円を助成するものでございます。

この減額の要因ですけれども、年々申請数が減少しているところでございます。令和2年度は265人いらっしゃいましたけれども、令和3年は237人、約30名の方が減少しているということです。

こちらにつきましては、毎年75歳になる方が該当してくるんですけれども、75歳以上であっても免許を持っている、運転していらっしゃるという方の割合が増えてきているのではないかとこのように課内では予測をしているところでございます。

また、こちらの方については、利用促進としましては毎年申請が必要なものでございますので、申請期間のときには、民生委員さんに御協力をいただいて、戸別訪問をしていただきながら、漏れがないように対応しているところでございます。

もう一つの通院支援の事業につきましては、足の不自由な方、要介護3以上かつ寝たきり度がB以上の方に対して、月に2往復を限度に市内の医療機関、通院時のタクシー券を交付しまして、運賃の全額を支援するというものでございます。

こちらにつきましても、申請数が減少しております。令和2年度は15人、令和3年度は8人が対象となりました。この減少の理由ですけれども、要介護3以上の方ですので、施設に入所されたり、また、お亡くなりになったということで、継続利用者が減少しているということでございます。こちらにつきましては、支援者であるケアマネジャーさんに事業の周知を図っていただいているところでございます。

次に、概要版24ページ、健康づくり事業費でございます。

こちらの事業費ですけれども、健康づくり推進協議会ですとか食育推進事業、そのほか事務的な経費を計上している予算になります。

令和3年度につきましては、健康プラン第2期計画の中間評価のために、実態調査というものを行いました。これによりまして、郵送料ですとか、そのほかを計上しておりましたけれども、令和4年度は実態調査は行いませんので、その分が減額したということでございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 私からは、概要版24ページの都市農村交流事業費についてお答えしたいと思います。

都市農村交流事業につきましては、東京都豊島区、埼玉県和光市との交流を促進する事業でございます。

和光市民まつりにつきましては、昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大のために中止と、そして、メインとなります豊島区、毎年夏に豊島区民をお呼びいたしまして、いなか川遊びということで、荒川南部土地改良区に交付金を交付しまして、その事業をしていただいているところでございます。

豊島区民からすれば、こちらのイベントは非常に人気でございまして、夏だけでは非常にもったいないということで、昨年度は冬もできないかということで、実際にコロナの影響でできなかったんですけれども、冬も、どんど焼き体験なんかも計画をしていたんですけれども、できませんでした。

いずれも、夏秋、それぞれ50万ずつの予算を計上してございましたけれども、令和4年度につきましても、なかなか、コロナの感染の収束が見えないということで、夏の事業のいなか川遊びの1回だけは計上してございますけれども、冬については計上を今のところ見送ってございますので、それに伴う減額ということでございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） 私からは予算概要26ページ、市営住宅管理費の225万4,000円、前年と比較しまして、100万5,000円の増額となりました理由につきまして、説明を申し上げます。

市営野上住宅につきましては、これからも修繕を加えながら存続をしていく方針の住宅であります。令和4年度におきましては、やや大規模な修繕工事を実施したいと考えておりまして、その予算としまして100万円を計上したところでございます。

よろしくお願ひいたします。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） 学校教育課では概要版26ページ、教育情報ネットワーク整備事業費、今年度の事業内容についてということですが、まず、こちらの事業が学校教育の情報化を推進する事業でございます。

学校教育ネットワーク機器の整備、保守が中心のものになりますが、令和4年度に関しましては、小中学校の先生が教室で使っているパソコンのリースが来年の8月で切れますので、その更新事業、それに約1,000万円ほど計上しております。そういったものが新規で発生いたしておりますので、御理解いただければと思います。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 水上生涯学習課長。

○生涯学習課長（水上和明） まず、概要版27ページ、人権・男女共同参画推進事業費の中の計画書作成の部数と、配布先ということでお答えさせていただきます。

まず、作成部数は200冊を予定しております。配布先ですが、まず各市町議員の皆様、また、各小中学校。また、町内各課推進委員、人権擁護委員、女性団体連絡協議会等に配布する予定となっております。

続きまして、概要版28ページ、烏山公民館整備事業費でございますが、烏山公民館付近の下水道につきましては、平成29年度から供用を開始しているところでございますが、烏山公民館は未接続であったことから、接続工事を実施しまして、公衆衛生に努めるものでございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 5番福田長弘議員。

○5番（福田長弘） 御説明ありがとうございました。

高齢者福祉タクシー事業費について、なかなか自分で申請を出すことができない方も、継続していろいろな方が情報提供というか、御案内をしているということなので、継続して、そういう皆様に、対象となる方に御連絡をしていただいて、有効にお使いいただけるように努力されることを願っております。

健康づくり事業費、事業の流れ、これは理解させていただきました。

都市農村交流事業費、夏1回分を計上したということでございます。今年度もどうなるか分からないんですが、1回夏とかって、そこら辺も夏だったり、秋だったり、両にらみでやっていただければいいのかなと思います。

情報ネットワークで整備事業費ですけれども、リース代ということでございます。すみませ

ん、よろしければ、今後、こういう教育関係の整備費というのは、新しいものが導入されて大きくなってきているんですが、これからもずっと継続して、これぐらい増えるのかどうなのか、お教えいただければと思います。

印刷の製本代、そちらは理解いたしました。

公民館の整備事業費も理解しました。今、公共施設の再編云々をやっているところでございます。こちらのほうも貼り付けて、ばたばた、その場限りではなくて、長期的に見た計画でやっていただければと思います。

すみません、教育情報ネットワークの、ちょっとだけ次年度以降のこともお教えいただければと思います。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） まず、教育情報ネットワークにつきましては、やはり情報化ということで、今、デジタル庁もできてきておりますので、そういった指導の下、今後デジタル化はますます進んでいくのだと思います。

現在も配置してあります機器につきましては、やはり保守点検等がかかってまいりますので、そういったものは経常経費として今後かかると思っております。

それと、先ほどお話しさせていただきました先生方のパソコンのリースですけれども、こちらは5年リースになりますので、今後5年間は必要なものとなる予定でございます。

こういったデジタル化につきましては、日々進化しているものでございます。今後、クラウド化という話も教育業界の中では話も出ておりますので、そういったものに対応するようにも考えていきまして、予算計上のほうにも財政当局と協議していきたいと考えております。

以上でございます。

○5番（福田長弘） ありがとうございます。質問を終わります。

○議長（渋井由放） 次、ございませんか。

6番村上進一議員。

○6番（村上進一） では、通告書に基づきまして、4項目だけ質問させていただきます。

まず、概要版9ページ、一般会計総括表、寄附金、諸収入なんですけれども、自主財源33.2%と県内でも苦しい財政状況の当市にとって、自主財源確保に取り組むことが自治体財政に必須と考えております。

一般質問で提案させていただいたネーミングライツとかクラウドファンディング、また、ふるさと納税等で自主財源確保に取り組む考えはあるのか、また、今回の予算編成において、そういった検討はなされたのでしょうか、お伺いいたします。

続きまして、概要版11ページ、歳出です。性質別の表があるんですけれども、一般的に人

件費、物件費などの内部管理経費は極力節減し、より多くの財源を投資的経費、福祉事業等、市民に還元される経費に振り向けることが必要と、今さら私が言うまでもないんですけども、この表によりますと、前年度比較2億8,581万7,000円増加のうち、人件費が、うち職員分、2億7,348万3,000円増加となっております。この表について、市民にどう説明するのか、その辺についてお伺いします。

続きまして、予算書111ページの農業費、なすからブランド6次産業化推進事業費補助金が0円、対前年比20万円となっております。

なすからブランドについても、私は一般質問したんですけども、そのときには前向きな、積極的な対応をするというような御回答をいただいたんですけども、令和4年度のなすからブランドの取扱いについてお伺いします。

最後に、概要版8ページ、関係人口創出事業費。先ほど青木議員の質問の中で御回答をいただいたんですけども、新規経費で29万1,000円が計上されているんですが、概要版の21ページで、対前年比19万3,000円減少となっているんです。何か相反するような感じがあるので、その辺の詳細の説明をお願いします。

以上です。

○議長（渋井由放） 菊池総合政策課長。

○総合政策課長（菊池義夫） 議員御指摘のとおり、1番目の御質問ですけども、本市の自主財源比率は33.2%ということで低くて、自主財源確保に向けた取組というものは、非常に欠かせないものだと考えております。

自主財源の確保に向けた取組としましては、やはり市税徴収の向上、これがまず第一だと思っています。

あとは適正な使用料、手数料の確保、そのほか有利な起債、国県補助金の活用が挙げられると思います。それらについて積極的な取組を行ってまいりたいと考えております。これが一番基本だと考えております。

また、新たな財源として、ふるさと納税とかクラウドファンディングなどについても、研究は重ねてまいりたいと考えておりますので、御理解いただきたいと思います。

2つ目の質問でございます。人件費、うち職員分の増加についてですが、一般職及び特別職に係る人件費の総額のうち、一般職及びパートタイム、いわゆる会計年度任用職員に係る予算の内訳を示したものでございます。令和4年度につきましては、これまで内数に計上していなかった共済費や退職手当組合負担金について分類の見直しを行いました。したがって、内数に計上したことから生じた増額というふうな状況でございます。

御理解いただきたいと思います。

○議長（渋井由放） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 私からは予算書111ページのなすからブランド6次産業化推進事業費についてお答え申し上げます。

なすからブランド6次産業化推進事業費でございます。こちらにつきましては、なすからブランドに認証されました農産物、6品目でございます。山あげ牛、山あげ米、パッションフルーツ、中山かぼちゃ、国見のミカンを使った6次産業化に取り組む業者に対して補助金を出すというものでございます。こちらにつきましては、令和元年度から取り組んでございます。

令和元年度は、山あげ牛を使いました、かけるメンチの商品開発に始まりまして、令和2年度に商品化になったところでございます。

令和3年度につきましては、山あげ牛を使いましたハンバーグ、山あげ米の米粉を使った手羽先ギョーザということで、それぞれ事業を行ってございますけれども、いずれも商品開発はするんですけれども、なかなか有効な特産品に至らないというところで、いずれも、山あげ牛を使った商品開発については、それぞれ開発者への補助金という意味合いが強いものでございますから、使用農産物の生産拡大であるとか、ひいては農家の所得向上になかなかつながっていかないというのが課題でございます。

村上議員が御質問されましたように、6次産業化については、いろいろ取組の推進を図っていくというところで答弁をさせていただいたところではございますけれども、この6次産業化につきましては、県の補助金なども、6次産業化に取り組む事業がございます。

今回、減額の理由としましては、今後の市としての新規事業への取組は今のままでいいのかというのも含めて、いま一度、検討を図ってまいりたいと思いますので、令和4年度については、一旦この予算計上を減額させていただいたところでございます。

よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（渋井由放） 大谷まちづくり課長。

○まちづくり課長（大谷光幸） それでは、4番目の御質問でございます。概要版8ページで、上段のほうですが、関係人口創出事業費、黒丸、新規事業扱いとして29万1,000円を計上させていただいたものでございます。

めくっていただいて21ページ目のところでは、関係人口創出はシティプロモーションの一环と位置づけていただきまして、29万1,000円の予算を計上したんですが、昨年度が48万4,000円なので19万3,000円の減である。新規なのかどうかちょっと紛らわしいというところもあるかと思ひます。

この19万3,000円の減と申しますか、この事業につきましては、これまで豊島区ですとか池袋ですとか、いろんなところとお付き合いがある際に出張をさせていただいて、職員が

あちらでいろいろな活動をするという予算が多かった部分です。

それと、宇都宮大学の生徒さんが、本市をフィールドとして、四、五回、フィールドワークを行ってというようなところで、昨年度でいうと、33万円ぐらいの予算が使われておりました。この宇大の地域プロジェクト演習ですが、宇都宮大学さん等と相談をした結果、今までは、那須烏山市を介して地元の団体に委託料をお支払いするような形で予算を組んでいたんですけど、今後は宇大から、直接そちらの地元と契約を結びたいということになったものですから、今回、その予算を削らせていただきました。33万円の減でございます。

それと先ほど申し上げた旅費、コロナの関係でなかなか行けない部分が多くなってしまったので、少し減らさせていただきました。

一方、先ほど青木議員からお話のあったからすフォーラム。イベントからすフォーラムのお話ですが、15万5,000円を増やさせていただきました。

その結果、新規の仕事、からすフォーラムがありながら、総額的には19万3,000円の減になってしまったところでございます。新規のところでは扱いがややこしくて、申し訳ございません。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 6番村上進一議員。

○6番（村上進一） なすからブランドについて、まちづくり課長のほうで販路拡大とか、そういった部分に対する取組を強化するような話を前にされたと思うんですけども、その辺はどうなんでしょうか。

○議長（渋井由放） 小原沢商工観光課長。

○商工観光課長（小原沢一幸） なすからブランド認証につきましては、以前、村上議員のほうから御質問をいただきまして、見直しを図るということで、現在、まだ見直しの経過の途中でございますが、令和4年度につきましては、まず、ブランド品の見栄えをよくするというところで、写真撮影費を委託料として取っております。商工総務費の中で計上しておりますので、それらでよく見せていきたいと考えております。

以上です。

○議長（渋井由放） 6番村上進一議員。

○6番（村上進一） 了解しました。

自主財源確保は、ネーミングライツにしる、クラウドファンディングにしる、そんな金額的には多くないんですけども、やっぱりこれは市職員全員で取り組むべき課題だと思います。例えば提案制を導入してやれば、広告料とかが増加するんじゃないかというような、全職員を挙げて取り組むべき課題だと思っております。

そうすることによって、税金に関する認識も変わり、例えば無駄な経費を削減しようという意識も出ると思いますので、そういった取組をぜひやっていただきたいと思います。

最後になりましたが、今回の予算は、市長の公約を重視した予算となっておりますと書いてありますが、川俣市政2期目で、先送りできない大きな課題が山積みですが、説明責任を果たして、市民の同意を得て、一步ずつ確実に結果を出して進めていくことを期待して、私の質問は終わらせていただきます。

よろしく申し上げます。

○議長（渋井由放） ここで暫時休憩いたします。再開を13時といたします。

休憩 午前11時58分

再開 午後 1時00分

○議長（渋井由放） 休憩前に引き続き再開いたします。

どなたか、おりますか。

7番矢板清枝議員。

○7番（矢板清枝） 矢板です。令和4年度当初予算総括質疑通告書に基づいて質問させていただきます。全て概要版で質問させていただきます。

3ページ、農業基盤整備促進事業、これに関しては具体的な事業計画の内容を教えてくださいと思います。

同じ3ページ、道路交通網の整備、トンネル照明（LED）設計業務委託内容ということで、先ほども聞かれていたんですけども、もう一度、私もお聞きしたいと思います。

18ページ、農林水産業費県補助金、こちらは新規就農総合支援事業ということで聞かれていたんですけども、皆減の理由を教えてくださいと思います。

22ページ、運転免許証自主返納者支援事業費ということで、今年度に比べ、43.8%の減ということでもありますけれども、予算減の理由について教えてくださいと思います。

同じく22ページ、交通指導員活動費、減額の理由を教えてくださいと思います。

25ページ、農林水産特産物開発事業費の皆減の理由をお願いいたします。

それから、同じく25ページ、企業誘致事業費、前年度比マイナス33.5%である理由をお願いいたします。

それから、同じく25ページ、公園等観光施設運営費、前年度比53.1%の理由を教えてくださいと思います。

もう一つ、25ページ、道路保全費、前年度比マイナス54.6%の理由を教えてくださいと思います。

また、これはページには関係ないんですけども、コロナ禍のために事業の中止が相次ぎましたが、そのために予算計上されていたものが執行できなかつたと思いますが、その使い道は、今後、この新年度予算には反映されたのかどうかというのを伺いたいと思います。

以上です。

○議長（渋井由放） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 私からは概要版の3ページ、農業基盤整備促進事業費からお答えいたしたいと思います。

農業基盤整備促進事業費でございます。こちらにつきましては、まさに矢板議員の地元の下川井地区の土地改良事業に対する経費でございます。

令和4年度につきましては、熊田にありますJA下江川支所の北側から、アミノ米菓の手前までの江川の両岸の水田の土地改良事業を進めるということで、今現在、計画をしているところでございます。

令和4年度につきましては、その範囲の中の全農地、畑も全部含む高低差であるとか、水路幅であるとか、農地の利用状況調査ということで、それらを調査をしまして、全部地図化します。地図化にかかる費用が1,845万2,000円でございます。

さらに、地図化するだけではなくて、大まかな、予定地内の土地改良を進めるエリアの換地というか、土地改良圃場整備の青写真の図面まで作る予定になってございます。それが200万円ということで、合計2,045万2,000円の予算内訳になってございます。

続きまして、18ページ目の概要版、農林水産業費の県補助金でございます。

まず、農地集積推進事業費でございます。こちらにつきましては、いわゆる農地中間管理事業費、要は農地の出し手が農地中間管理機構を通して、貸手に農地を貸し出すという事業でございますけれども、この農地中間管理事業は非常にハードルが高い事業となっております。10年以上の利用権設定を含みます農地、畑も含めた全農地を貸し付けすると。そしてまた、未相続地であるとか、境界が定まってない筆界未定地については事業の対象とならないということでございますので、現在のところ、令和4年度の取組がありません。

ありましたら、補正で対応したいと思いますけれども、当初では今ありませんので、その補助金分を皆減という形で予算を削ったところでございます。

続きまして、新規就農総合支援事業費でございます。こちらにつきましては、国の150万円を活用しました経営資金の補助金でございます。昨年度まで、お一人の方がこの事業を活用していましたが、支援期間の5年間が経過したということで、150万円を減額するものでございます。

25ページ、農林水産特産物開発事業費でございます。こちらにつきましては、先ほど村上

議員にお答えしたとおり、農業者の所得向上、または、農作物の生産拡大に至っていませんので、この事業を改めて検討するという事で減額をしたものでございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） 矢板議員から御質問いただきました概要版3ページ、トンネル照明（LED）設計業務委託でございます。

こちらにつきましては、先ほども述べましたとおり、トンネル照明のLED化を進めるに当たりまして、設計業務をするものでございます。三箇トンネル、小白井トンネルの2門のトンネルのLED化のための、まず設計業務を行うものでございます。工事につきましては、令和5年度、6年度の2か年で実施する予定でございます。

続きまして、25ページの道路保全費、2,950万円の減となりました理由でございますが、こちらにつきましては、令和3年度におきましては、いちご一会とちぎ国体の会場となります緑地運動公園のアクセス増となる富士見台工業団地線の舗装修繕、それから、烏山庁舎の中央交差点から旧烏山女子高校までの山手通り線の舗装修繕工事を、公共施設等適正管理推進事業債を活用しまして実施いたしました。

この金額が令和3年度におきましては計上されておりましたため、金額を押し上げておりました。令和4年度におきましては、その分がマイナスになりますことから、54.6%の減となりますので、御理解をお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（渋井由放） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 概要書22ページ、運転免許証自主返納者支援事業費の減の主な要因でございます。

令和3年度にタクシー券の用紙を大量に購入してございます。それから、交通安全のグッズということで、小物入れを5年分ぐらい、令和3年度に買わせていただきました。それらを計上しなくなったことから、予算減となっているものでございます。

続きまして、同じページの交通指導員の活動費の減でございますが、交通防犯指導員という会計年度任用職員が総務課内に1名おりますが、その者が新たな方に今年度から代わることに伴う人件費の減になってございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 小原沢商工観光課長。

○商工観光課長（小原沢一幸） 概要版25ページ、企業誘致事業費につきまして、お答えいたします。

企業誘致事業費につきましては、そのほとんどが企業立地奨励金で占められております。本制度は、大まかに言いますと、新設の場合は6年間、増設の場合は3年間、対象となる資産の固定資産税相当額を奨励金として交付するというものです。

過去に認定しました太陽光関連の奨励金の多くが、ここ数年で期間満了を迎えることになることから、総額が減ってきたこととなります。

具体的には、令和3年度から4年度にかけて、太陽光関連で17事業者、それ以外で2事業者が期間満了を迎えたことによりまして、大きく減額となったところです。

続きまして、同じく25ページ、公園等観光施設運営費の前年度比53.1%の理由でございます。

こちら大きなものとしましては、公園等観光施設修繕としまして、花立峠憩いの森公園の修繕に要する経費としまして、256万6,000円を計上しております。また、本年度、くみ取りトイレを簡易水洗に改修したことにより、維持管理費が若干増加となりまして、総額で昨年度より271万5,000円増加となっており、53.1%の増となったこととなります。

以上です。

○議長（渋井由放） 菊池総合政策課長。

○総合政策課長（菊池義夫） 最後の質問の中に、コロナ禍のための事業中止が相次いだという部分でございますが、総括的に私から回答させていただきます。

3月の補正予算の際に、執行できなかった事業、市長の答弁の中で13事業、147万円というふうな数字を、おおよその数字で述べさせていただきました。

使い道というか、3月で調整をさせていただきましたから、補正減額ということで、補正予算の財源、あるいは翌年度への余剰金という形で措置させていただいておりますので、よろしくをお願いします。

○議長（渋井由放） 7番矢板清枝議員。

○7番（矢板清枝） それでは、再質問させていただきます。

農業基盤整備促進事業については、理由が分かりましたので、金額的にかなり大幅なアップがあったような気がしたのでお聞きしたんですけれども、理由としては、いろいろな水路の幅とか、そういう地図化にしたり、青写真をしっかり作るということで必要な費用だということがよく分かりましたので、了解いたしました。

道路交通網の整備で、トンネル照明のLED化の設計業務が令和4年度で、工事は令和5年度、6年度に実施するという事をお聞きしたんですけれども、今現在、トンネル内に入りますとかなり照明が暗くて、本当に危険な状態だなと感じながら走っているんです。

特に、明るい時間帯にトンネルに入ると真っ暗に見えますので、本当に人が中にいるかいな

いかというのが確認しづらいんです。それを、注意をしながら走るわけなんですけれども、以前にも事故があったこともありますので、トンネル内の壁面を少し明るくするとか、何か反射板みたいな色を塗ったりとかって、そういうことをしていただいたような気もするんですが、何か対応できないかなと感じたので、この質問をさせていただきました。

それから、農林水産業費補助金のほうは了解いたしました。

運転免許返納の事業も分かりました。

交通指導員活動費ということで、交通指導員というと、学校のところで子供たちを見守るみたいな、そういう係の方のもので、交通指導員というふうに勘違いしたんですけれども、了解いたしました。

それから、農林水産物開発事業費も了解です。

それから、企業誘致事業費も了解です。

公園等観光施設運営費も了解です。

道路保全費というのも了解です。

今、言ったところの部分で1つだけ、LED化の部分のトンネルのことで何とかならないかなというところをお願いしたいと思います。

○議長（渋井由放） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） そうですね、皆さん、通っている方は暗いというところで、走りにくいところがございますが、トンネル照明の交換をするにしましても、それがかなりの経費を要するところがございます、切れているものもかなり多くございます。

それなものですから、本年度に設計をし、令和5年度、6年度ということで工事ができる見通しが立ったというところで、何分御理解をいただければと思いますが、照明の点検ではなく、もう一度、電気関係のほうですね、調整ができ、全部点灯し、経費がどのぐらいになるかというところも検討しまして、何らかの対応ができればと思っておりますので、御理解をお願いしたいと思います。

○議長（渋井由放） 7番矢板清枝議員。

○7番（矢板清枝） 難しいとは思いますが、とにかく明るさが必要かなというのは、もちろんお金の部分でも大変なこともありますので、理解はしますけれども、LED化になるということも、本当にありがたい話で、ぜひともお願いしたいところなんですけど、現段階で今年、令和4年度中はまだ工事に至らないわけなので、その部分でやはり何とかならないかなという思いでいますので、検討していただければと思います。

以上です。

○議長（渋井由放） よろしいですか。

○7番（矢板清枝） はい。

○議長（渋井由放） 次、おりますか。

8番滝口貴史議員。

○8番（滝口貴史） 新年度、令和4年度当初予算の総括質疑を始めさせていただきます。

全て概要版から質問をさせていただきます。

それで何点か、順番で前の議員さんと同じような質問もありますが、全て具体的にお答えいただきますよう、お願いいたします。

概要書の6ページ、中学生海外派遣事業費、380万円について。先ほど、行くか、行かないか、やるか、やらないかというお話でしたが、それも含めて、どのように、これに代替するような行事も含めて考えているのかどうかということをお願いいたします。

次に、JR烏山線利用促進事業費、141万6,000円についてお願いをいたします。

8ページ、給食費の助成に要する経費、3,366万円についてもお願いをいたします。

8ページ、旧境診療所改修工事に要する経費、500万円についてお願いいたします。どのように改修するのかも、お願いいたします。

8ページ、共通納税税目拡大に伴うシステム導入に要する経費について、具体的内容についてお願いいたします。

21ページ、地域の学校を核とした地方創生事業費、通称、烏山学のことだと思うんですが、128万6,000円について、新しい何か新規事業とかがあるのか、お答えをお願いいたします。

27ページ、はたちを祝う会事業費、76万8,000円、増の理由をお願いいたします。

同じく27ページ、人生の並木路管理育成費、32万1,000円、減の理由をお願いいたします。

6ページと27ページ、文化財保護費、698万2,000円、増の理由をお願いいたします。

同じく文化財調査費、1,177万3,000円についてお願いいたします。

最後に、ジオパーク構想推進事業費、106万5,000円について、詳細説明をお願いいたします。

○議長（渋井由放） 田代教育長。

○教育長（田代和義） それでは、概要版6ページ、中学生海外派遣事業費についてお答えします。

この点につきましては、もう既に、前に御質問なされた議員の方に御説明したとおりでございますけれども、この2年間、コロナ関係で実施ができずにあります。来年度、できるだけ実

施したいと。今年卒業した中学生が1名だけ、1年生の段階で行ったというのが最後でしたので、ほとんどの中学生が、そのチャンスに恵まれていないというような状況でございます。

額はいずれにいたしましても、極力実施できるような方法でやってまいりたいと。

相馬議員の質問にも関連しますが、代替行事はどうかというふうなお話でしたが、昨年も若干、計画等を取ったんですが、時期がちょっとずれてしまったということで、福島県にブリテッシュ・ヒルズというところがございますので、広大な敷地の中にイギリスの郊外の建物等、それから宿泊施設等がございまして、行くと、選べるんですが、全部英語というようなことも選べますので、そんな点を代替として、早めに実施、不実施を確定して、そちらに補正予算等で組んでいきたいと。ちょっと費目が違いますので、このまま全部そちらに横流しというわけにはいきませんかしょうから、その点については、また議員の皆さんに御提案申し上げ、御理解いただきたいと思います。

以上です。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） では、引き続き、学校教育課からお答えいたします。

概要8ページ、給食費の助成に要する経費、3,366万円の件でございますけれども、こちらは今年度と同様、毎月2,000円の補助を行いたいと計画しております。夏休み期間中を除いた11か月分を補助いたします。対象の児童生徒数が、1,530名で予算化をさせていただきます。

続きまして、同じく8ページ、旧境診療所改修工事に要する経費、500万円です。こちらは台風19号でレインボーハウスが使えなくなりまして、現在、上境地区の森林組合の事務所を借りているんですけれども、こちらは旧境診療所に移転することに伴う改修工事等の経費でございます。

令和4年度ですが、学習室、職員室として利用する部屋のエアコンの設置をメインに、そのほか、細かな改修工事、こういったものを実施したいと思っております。

ちなみに令和3年度は電気のLED化や床のクリーニング等をしております。やはり一遍に費用負担がかかってしまいますので、年次計画でこちらの改修工事をしていく予定でございます。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 高濱税務課長。

○税務課長（高濱裕子） 私のほうから概要8ページ、共通納税税目拡大に伴うシステム導入に要する経費、こちらの具体的内容について説明申し上げます。

こちらの経費は、業務委託料、共通納税税目対象税目拡大に伴うシステム改修費、こちらが

193万6,000円。消耗品費、こちらは周知用の消耗品になりますが、1万9,000円となります。

共通納税とは、令和元年10月から導入されました制度で、電子申告のほかに、法人関係税、個人住民税、特別徴収なんですけれども、こちらの電子納税ができます。令和5年から、固定資産税と軽自動車税も該当になります。そのためのシステム改修費となります。

併せて、QRコードが納付書に印刷されますので、こちらシステム改修費が入っております。令和4年度につきましては、納付書発送のときに案内パンフレットを送付する予定であります。

以上です。

○議長（渋井由放） 大谷まちづくり課長。

○まちづくり課長（大谷光幸） すみません、ちょっと順番が分からなくなってしまいました。ごめんなさい。

私のほうから、2番目にありますJR烏山線利用促進事業費と、6番目の地域の学校を核とした地方創生事業費について、再度、お答えいたしたいと思います。

7ページ目、JR烏山線の利用向上について141万6,000円として記載させていただいて、めくっていただいて、8ページ目のところに、再掲ではございますが、主な事業内容のうち、新規経費についてということで、JR烏山線100周年については99万7,000円と書かせていただきました。

特に、この99万7,000円の部分、先ほどもお答えしましたとおり、大きなトピックス的な仕事でございますので、庁内で検討会議を開催いたしまして、各課でいろいろなことをやろうじゃないかと、やっていこうじゃないかということで検討を開始してございます。

令和5年度は、もちろん記念式典、あとは先ほどもお話をした冠のイベント等々をやることとなりますが、いきなりそこであるということではなくて、そこに向けて、各種の啓発をもう始めようじゃないかということでございます。

この中で、先ほどもお話をしました烏山線に関する思い出の記事、これは総合政策課の広報担当のほうでやっていただきますし、あとは写真の募集をしたり、また、御協力をいただいている絵画展の充実を図ったり、まちづくりチャレンジプロジェクトの中でも、令和4年度はそのテーマとして取り上げてみたり、沿線の美化活動を、既存の予算でしようけれども、やっていただいたり。

あとは、私どもなんかでも、移住定住のプロモーションをやっていますけれども、そこを特に、定住環境として烏山線のプロモーションをやったりというようなことを徐々にやっていきたいと考えてございまして、今回、この99万7,000円の予算の中では、先ほども青木議

員にもお答えをしましたが、例えば、そういった絵画展だとか、いろいろなことをやるときの消耗品、賞状なんかも必要かなと思ってございますし、例年やっていますメロディーの設定、解除なんかもやってみたいと思っておりますし、タペストリーの作成をやってみたり、ポスターの作成などをやってみたりと、そんなふうな予算を計上してございます。

一般質問でも頂戴したんですが、すみません、尻切れの回答になってしまいまして、もう啓発は実は始まってございます。この間の答弁では、JRさんが苦境にあるというお話だけで終わってしまって、ごめんなさい。

本当は2月8日に、下野新聞さんには、ふるさとニュースというコーナーをつくっていただいております、ここで私たちまちづくり課と商工観光課と協働した記事を載せてございます。「烏山線100周年に思いをはせて」というタイトルでございました。

JR烏山線は、実に30年もの地元の人たちの請願活動ですとか、そういった活動を結ばせて、大正12年、30年かけてようやく開通をして、当時は烏宝線という名前でしたけれども、それから実に100年と。最初は大金駅と烏山駅だけだったんですけれども、徐々に駅を増やしていったというようなことでございました。

それ以降、廃線の危機があったり、国鉄化があったり、そのたびごとに、いろいろなイベントなんかもやらせていただいていたというものでございました。先人に、この烏山線を開通していただいた、努力をしていただいた多くの先人に感謝を込めながら、市民みんなで共に祝福をいたしましょう。ありがとう、からせん、これからもよろしくお願ひしますというふうな結びにさせていただきました。

この中で、当時の大正12年の記念式典の様態を抜粋で書いてございます。これは『烏山史』からの抜粋ではございますが、今読んでも非常に感動的でございます、4月15日に竣工はしたんですけれども、開通式は5月1日でした。5月1日は、目抜き通りに大きなアーチが建てられて、小旗を持った小学生によるパレードが行われた。各家庭の軒先には花飾りと、ちょうちんが下げられるなど、全体が開通の喜びに包まれた。まさに、市民と協働で、市民とともに開通を祝ったということだと思ひます。こんなふうな記念行事にできることが、一番よろしいかなと思ってございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 水上生涯学習課長。

○生涯学習課長（水上和明） それでは、まず、概要版27ページ、はたちを祝う会事業費の増額の理由でございます。

今年度は、コロナの影響で場所を南那須公民館で実施いたしました。令和4年度は、開催場所を通常の通り、風月カントリー倶楽部に戻して実施する予定としておりますので、その業務

委託料分が増額になってございます。

次に、概要版27ページ、人生の並木路管理育成費、減額の理由でございます。

今年度は、富士見台工業団地の並木の伐採費が通常ベースに比べて増額となっております。その分が令和4年度は通常ベースに戻ったということで、減額となっております。

次に、概要版の6ページ、27ページ、文化財保護費の増額の理由でございます。

まず、烏山城跡の国史跡指定関係で、烏山城跡確認調査の報告書の作成費、また、烏山城のパンフレットの作成費などが増額になっております。

併せて、旧熊田小学校の解体設計に係る業務委託料分も増額となっております、その辺で増額となっております。

続きまして、6ページ、27ページ、文化財調査費の内容でございます。

令和4年度の主な調査の内容ですが、まず、東山道跡の追加指定に係る発掘調査費がございます。これは、未指定地の追加指定に向けまして、小白井地内の東山道跡の北側の発掘を行うためのものがございます。

もう一つは、烏山城の国史跡申請に係る調査業務ということになります。

歳出の主な内容でございますが、遺跡整理作業員、また、発掘作業員の報酬、それと東山道の発掘のための業務委託料が歳出の主なものになります。

次に、6ページ、27ページ、ジオパーク構想推進事業費でございます。

主な内容は、推進協議会等の運営、また、ガイド養成のための講座の実施、校外学習へのガイド派遣事業の実施、ジオパーク教室の実施、また、ホームページ、インスタグラムなどの管理・更新となります。

主な歳出の内容でございますが、校外学習等を行うときの市有バスの運転業務委託料、また、ホームページ等の保守管理業務委託料、日本ジオパーク準会員の負担金が主なものとなっております。

以上です。

○議長（渋井由放） 大谷まちづくり課長。

○まちづくり課長（大谷光幸） 失礼しました。1つ抜けてございました。

地域の学校を核とした地方創生でございますが、烏山学のプログラムについては、今年度、大きく見直しをしたものですから、基本的には変わってございません。

栃木の定着モデル、こちらについては、今年度はコロナの関係でなかなかやれなかったんですけれども、来年度、順調であれば、栃木方面への視察を一、二回予定してございます。この辺りが新規的な仕事になってくるかと思えます。

以上です。

○議長（渋井由放） 8番滝口貴史議員。

○8番（滝口貴史） 何点かお聞きさせていただきます。

課長が今、熱く語ったJR烏山線利用促進事業、いろいろ、タペストリーを作ったり、物を作ったりするよりも、この前の一般質問でも言いましたが、乗車率を上げることがやっぱり一番だと思うんです。皆さんも協力してやっていきたいと思います。よろしくお願いします。

一番先に戻りまして、中学生海外派遣事業費、一応、代替案も少しは考えているということで、今、お聞きしました。できれば、そのまま今の状況、ロシアの状況も含めて、コロナ禍だけじゃなくて、世界的に紛争、戦争なんていう話にもなる、もしくはなるかもしれないという状況まで迫ってきましたので、全くもって白紙にならないように、いろいろな方策を、別案も、1案だけではなく2案、3案というのを今から考えていただければと思います。

給食費の助成に関しては了解いたしました。

レインボーハウスも、1点だけ、運用は次年度から始まるのか、それとも、まだやりながら、改修費は、あとこれからどれぐらいかかる予定なのか、お願いをいたします。

共通納税システムのことは了解いたしました。

烏山学、ほかの市町、隣の市町なんですが、馬頭高校、那珂川学をやっていると思うんですが、水産課があるおかげで、派手にブランドCMをやられていると思います。最終目標はああいうふうになるのかということをお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

はたちを祝う会については、元に戻すということで、風月カントリー倶楽部を利用するということで了解しました。

人生の並木路管理育成費は、富士見台工業団地の分が、増額した分を元ベースに戻す減額ということで了解をいたしました。

文化財保護費等々、調査費も含めて、烏山城等とか、また、文化財調査費のこと、東山道を今、併せて調査していると思うんですが、小白井の北側、また何か、上川井から志鳥にかけても東山道が通っているというのも、今、調査されていると思うんですが、そういうところの中身で、具体的に、将来的には大田原市までつなげる道をしっかりできるように調査するのかということをお聞きしたいと思います。

ジオパーク構想推進事業については、例年どおりの事業なんですが、ジオサイトに関わっている人たちがあまりにもばらばらで、まだやっているような気がするんです。できれば、もっとまとまりを持ってやっていただきたい。言葉を悪く言えば、理科の先生の分野は理科の分野で行っている。社会的な先生は社会学的な分野で行ってる、何と申しますか、まとまりがちょっと悪いように感じるんです。子供たちには子供たちという形で、いろいろやっているのは分かるんですが、そういったところをもう少し、これは教育長に聞いたほうがいいのかもしれない

いんですが、全体的にまとまりよく、ジオパークという構想をいかに、どのように向かっていくか。子供たちの地域を愛する心を醸成していくという大きな目的のもとにやっていると思うんですが、そういった観点でよろしいのか、ちょっとお願いをいたします。

○議長（渋井由放） 田代教育長。

○教育長（田代和義） よろしいのかというのは、それでやっていきたいということですが、確かに若干、専門分野ごとにばらけている部分がありますので、ジオサイトの説明者の育成も含めて、総合的にやっていきたいと思います。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） レインボーハウスの件でございます。

4月1日に開設できるように、3月下旬に引っ越す予定です。生徒たちの受入れとしましては、4月8日、始業式から受入れ体制を取っていきたくと考えております。

やはり、こちらのレインボーハウスは、不登校ぎみの児童生徒が通う最後のとりでというようなところなんです。設備等が汚くては、あんな汚いところには行きたくないということにもなりかねません。建物も、もちろんですけども、周辺の庭等も整備をして、運動ができるような、そういったところも考えてはおりますが、財源が伴うものでございますので、本当に必要かどうかというところを財政当局と話し合いさせていただきながら、引き続き、整備等をしていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 大谷まちづくり課長。

○まちづくり課長（大谷光幸） 烏山学でございますが、おっしゃるとおりでして、馬頭高校水産課ですとか、茂木高校とか高根沢高校は総合学科になってはいますが、烏山高校は普通科でございます。

将来の姿が、まだ明らかには決まっておりますが、今までのプログラムに比べると、子育て、農業、ものづくり、那須烏山市のいろいろな講師の方々に関わってくれていて、密な話、リアルな話をしてくださっています。

こういったことを通じて、地域の学校、まさにこの地域の学校になっていくということ、そして、学びのための学びではなくて、やはり将来に向けた学びになっていくということが、大変重要なんじゃないかなと思ってございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 水上生涯学習課長。

○生涯学習課長（水上和明） 東山道の追加指定に向けての発掘の範囲ということでございますが、当然、予算もかかってくることであり、その辺に関しましては、さくら市と共同で管

理しているということもありますので、さくら市や文化庁、また、県の教育委員等に御指導を仰ぎながら、どこまで調査したらよいか、今後、検討してまいりたいと思います。

○議長（渋井由放） 8番滝口貴史議員。

○8番（滝口貴史） 最後に、烏山学についてなんですけど、去年も、私たちが成果発表会を見させていただいて、ここでもやっていただいた、その後、烏山公民館でやったものも、私は見に行かせていただいて、その中で、観光協会の現局長さんが、すぐソバーガーに飛びついて、結局、ソバーガーというものはできなかったけれども、それがそばベーグルにつながった。もう成果も僕は出ていると思います。

実際に、それが龍門ふるさと民芸館で、2日だか3日だか、販売したんですが、私も買いに行ったときにはあったんですが、その後、すぐ完売したというお話を聞きました。やっぱり地域の学校、若者の意見——意見というか、知恵もお借りして、この市をよくしていければいいなど考えます。

以上で質問を終わります。

○議長（渋井由放） 続いて、9番小堀道和議員。

○9番（小堀道和） それでは、質問をいたします。

この予算概要から質問をいたします。

最初に、予算の概要、今までと大きく変わったのは、確かに効率化とか簡素化のために、各課が市長の公約を受けて、こういうところが弱いから、こういうところに力を入れるんだみたいなのが全然ないものですから、すごく、一つ一つが個別に、ただ富んでいるなど言う感じがするので、この辺を少し考えてほしいなと思うんです。

そこにあまり力を入れると、各課のスタッフが大変なので、できれば、これをもう少し、今、市長の方針を受けて、各課はこんなところできていなかったのという、そういうつくり方にしてもらって、各常任委員会で検討するときには、これを使うということにすればいいので、今、逆に言うと、各課の常任委員会の資料がすごいボリュームで、何でこんなに工数かけるのというぐらいなので、その辺をちょっと検討してほしいというのが一番最初の要望です。

2つ目、予算概要書、ページ1の予算規模の推移、要するにこのグラフです。市債の借金と予算規模は、これを見ていると、市債がどんどん減ってきて、財政がよくなっているのは分かるんです。

これが今、議員が心配している新庁舎とか、那須南病院とか、ごみ処理場というのを財政面から心配していますけれども、その時点でどんな形になるのかというのがやっぱり一番心配で、同じですよというのであれば安心できるので、その辺の見通しがどうかというのを、概略を教えてくださいというのが2つ目です。

具体的にいきますと、私の担当じゃないところは、3番、地域資源の魅力創出と産業活力によるにぎわいあふれるまちづくりの中の雇用の確保、予算書概要、3ページなんですけれども、企業の魅力発信事業、18万円、これは全然、この内容とは違うんですけども、企業の魅力を発信する事業の中で、本市の製造事業経営者から、本市も含めて人材募集をかけても全然集まらないと嘆いているんですね。これは市長も知っていると思うんですけども。このような問題も、この18万円のできるのか分からないけど、これをぜひ項目として検討してほしいというのが3つ目です。

その次、農林水産業の振興、予算概要書、3ページ。これも全然、その他なんですけれども、米一辺倒から野菜作りなどへのシフト事業を国策として、県も相当奨励していて、奨励金なども出て、おりてきて、事業者説明をやっていますけれども、これは苦情があったんですが、那須烏山市より那珂川町が有利になるようなことは避けてほしい。

これはどんなこと言っているかというのと、当然、JAなんかは広域なものですから、那珂川町とみんな集まって同じところを聞くわけだけでも、那珂川町のほうが、町としてさらに追加しているとかというのがあると、すごい、うちの市はどうなっているんだみたいな話があって、私は相当苦情を受けているので、この辺、ぜひ、農林水産業の振興の中で考えてほしいというのが質問です。

あと次です。定住を促し安全で暮らしやすいまちづくりの中の予算概要書、3ページの空き家対策事業、22万3,000円、これの詳細を伺います。

それと、新規事業であるDX計画策定事業費、110万円、これも目玉事業という観点から詳細を伺いたいと思います。

それと、市民とともに築く持続可能なまちづくり、市民の地域コミュニケーション強化と協働のまちづくりの推進、予算概要書の4ページです。

これもその他ですけれども、まちのにぎわいという話になっていますけれども、にぎわいや活性化について、どのような事業を計画されているのかというのが、やっぱりよく見えないので、これを伺います。

それと、予算の特徴、一般会計の中で、放課後児童クラブ運営委託に要する経費が7,419万円、この金額が上がっていますけれども、委託事業者が変わったことによって、経費がどういうふうに変っているのかというのがちょっと気にかかっているので、これの考え方を伺います。

それと、一般会計の内訳の中で、10ページ、11ページの歳出の目的別及び性質別を見ると、ほとんどの項目が昨年比増になっています。これは、予算策定に当たって、市長のほうから長期的な見通しがあって、こういう財政にしよう。それを受けて、今年は何%減とか、そ

ういう方針が出て当たり前なんだと思うんだけど、その辺について、どういうことを方針として出して、予算編成をしているのかというのが気になるので、教えてください。

それと、最後ですけれども、南那須地区広域行政事務組合のごみ処理装置です。これは広域のほうから説明に来てもらいましたけれども、この調査費については、多分、予算書では65ページの塵芥収集と、し尿処理の分担金というところがあるので、ここの金額だと思うんですけども、新規に一般廃棄物処理施設の設置場所、志鳥とか、いろいろな話がありますけれども、この場所の問題もさることながら、本施設の使用が燃やすことを前提にした調査費は、私としては絶対これはやめたいんです。

設備導入費が安価で、かつ燃やさない設備仕様にすることで、経費が従来の半減となることが分かっていますので、そういう設備仕様案で導入検討することが承認条件と私は考えているんですけども、この見解を伺いたいと思います。

これを出している理由は、技術的にも対応可能な業者もいるし、業者がいる可能性がすごく今は高いということも分かってきたので、今までの見通しとか、あの辺のところから、大きく技術的にも進展しているので、必死に私は言っているんですけども、何としても、これだけ効果があるものを、そのまま進んでもらっては困るという思いが強いんです。だけど、ここは南那須地区広域行政事務組合ではないので、市単独の判定が、どういうふうにここで何か論議できるのかというのがちょっと疑問を感じながら質問しています。

以上、1回目、これで質問いたします。

○議長（渋井由放） ここで暫時休憩いたします。再開を14時といたします。

休憩 午後 1時50分

再開 午後 2時00分

○議長（渋井由放） 休憩前に引き続き再開いたします。

菊池総合政策課長。

○総合政策課長（菊池義夫） 1つ目の予算概要書についてお答えしたいと思います。

今年度の概要については、なるべく要点をまとめて、分かりやすい、見やすいような構成にしようということで担当課でも努力したところなんですけども、そのような工夫は行ったところではありますけども、当然改善すべき点もあります。今後、議員の御意見も参考にいたしながら、他市町の概要書なども参考として、よりよい概要書の作成に努めてまいりたいと思います。

2つ目の、予算概要の予算規模の推移でございます。

この表を見てのとおり、現状のまま推移したと仮定しますと、市債については、このような水準で減少していくと推定されます。しかしながら、市債については、今後のライフライン整

備、あるいは施設整備、それから災害、こういったものが発生しますと、当然、増額に転ずる場合がございます。特に議員の御指摘の新庁舎、南那須地区広域行政事務組合の施設等の整備が完了した時点ではどうなるんだという、私のイメージでいくと、今の市債はだんだん減ります。当然、新しいものをやらなければ市債の返済だけです。やはり、今の時点では、私の答弁と申しますと、工事の時期とか金額の概算とか、そういったものがまだ不明な状況が多々あります。そういった中では、やはりこれから各種計画を作成していく中で、財政シミュレーションというのは繰り返し行ってまいりますとしかお答えできないんですが、イメージ的には当然、合併特例債を過去に活用してきた際、各学校の大改修を行ってまいりました。その際にも、やはり一時的に返済が跳ね上がる時期はどうしても出てしまいますが、建物の整備というのは、おおむね起債は20年以上の返済になりますから、かなり各年に分散されますから、これから気をつけなきゃいけないのは、あまり集中的な整備を単年でやらないと、ある程度計画的にやるというのがやっぱり一番基本なのかと私どもは考えております。

もう一つ、DX計画でございます。これは、どこの自治体も取り組まなきゃいけないものでございまして、国のほうで閣議決定をされました、デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針ということが打ち出されました。本市についても、積極的にDX、いわゆるデジタルトランスフォーメーションの推進を図りなさいというようなことが必須として挙げられて、これからやらなければいけないということになります。一番議員の目玉は何だと聞かれたときに、これからつくるものなんですが、私なりに、担当課なりに考えたところは、このDX推進を取り組むことで、働く職員が笑顔になる推進をしてまいりたいと、そんな考えを持っています。

さらに行政のDX推進、いわゆる人的資源が確保された部分は、デジタルではやっぱり解決しない市民向けサービスなどを充実する。あるいは、地域もそうすれば笑顔になれる。そういった計画検討を進めていきたいと思っておりますが、基本国から示されている計画は6つの取組というのがあります。

その6つの取組だけ紹介をさせていただきますが、1つには、自治体の情報システムの標準化、いわゆる共通化ということで、いわゆる17の行政には基幹業務というのがあります。そういったものを国の策定する標準仕様というものに準拠したシステムへ移行しなさいというのが期限付でございます。これが1つ目。2つ目が、マイナンバーカードの推進です。今現在取り組んでおります。3つ目が、行政手続のオンライン化になります。4つ目が、AIRPAと申しまして、いわゆるいろんな帳票省力とか業務の自動化とか、そういったものなんですけども、そういったものの促進。5つ目が、テレワークの推進。6つ目にセキュリティー対策というような柱がありますので、それに準拠した計画を自治体DX計画ということで取り組んでまいります。

最後になりますけども、一般会計の内訳です。

確かに昨年度よりも増額という形にはなりました。しかしながら、各課の予算査定を数か月にわたり行ってまいりましたが、各課においては、やはり精査をして要求してくれておりますので、一律に何%、パーセンテージで減額目標というのは現実的にはありませんけども、中長期財政計画からは、年間、今年度の予算を110億円規模ということで目標を立てておりましたので、若干オーバーした理由は幾つもございますけども、今回の111億6,000万という形に数字が落ち着きました。

その程度で御理解いただきたいと思います。

○議長（渋井由放） 小原沢商工観光課長。

○商工観光課長（小原沢一幸） 概要版3ページ、雇用の確保、企業の魅力発信事業についてお答えします。

本事業につきましては、主に管内の中学生や高校生、就職活動を控える地元出身の大学生などをターゲットとしまして、地域の企業の経営者や従業員をインタビューした記事、また、動画を経営者の人となりや企業風土、働きがいなどの求人票に表れない部分に焦点を当てて作成する事業でございます。

先ほど議員がおっしゃったように、本市における労働市場は、求職している方がいないわけではないんですけれども、主に事務職で探している方が多いため、製造業においては慢性的に人が足りないという状況が起こっております。まさに、そのアンマッチを将来的に改善させることを目的の1つに始めた事業でございます。製造業だってこんなに面白いんだよと、そういった市内にこんな魅力的な経営者がいるんだよというところを学生さんなどに訴えるコンテンツを作成していきたいと考えておりますので、御理解のほどよろしくお願い申し上げます。

○議長（渋井由放） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 同じく3ページの農林水産業の振興についてお答えしたいと思います。

令和4年産の米の作付ですけども、一般質問にありましたように、転作率が53.4%ということで、自分が持っている田んぼの半分が作れないという、本当に危機的な状況でございます。

そういう中で、国、県、市、それぞれ転作に関わる奨励金体系については、かなり拡充はしているかとは思いますが、ただ、小堀議員御指摘のように、那珂川町との調整というところでは、当然、農業者数も違いますし、農業経営の体系、那須烏山市については、水稻を中心に米、麦、大豆、そば等の土地利用型が中心でございます。那珂川町については、どうしても園芸中心の農業経営体系になっておりますので、なかなか補助事業体系において那珂川町とイコールという

のは難しいところもあるかとは思いますが、同じ転作作物を作って農協に出荷しても、那珂川町と那須烏山市の農業者間で奨励金に差異が出てはなかなかうまくいかない部分がありますので、そちらについては、農協、または県の振興事務所等々とも連携を図りながら、助成金体系については均衡を図れるような施策を考えてまいりたいと思いますので、御理解いただきたいと思います。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 大谷まちづくり課長。

○まちづくり課長（大谷光幸） 空家対策計画でございます。

空家対策計画、来年度策定するつもりでおりまして、3回ぐらいの特措法に基づく協議会を開催して、特措法に基づく計画をつくるために協議会を開催してまいりたいと思っています。この中で計画をつくるとともに、特定空家の認定基準ぐらいまでたどり着くということが必要かと考えてございます。協議会のメンバーは、司法書士ですとか建築士、不動産鑑定士、自治会関係者、それと県の職員に入っていただくのがよろしいかと考えているところです。

以上です。

○議長（渋井由放） 大谷まちづくり課長。

○まちづくり課長（大谷光幸） 失礼しました。南那須地区広域行政事務組合の新施設についてということでございます。

私も、南那須地区広域行政事務組合のほうの委員に入っているものですから、その概要等を御案内したいと思います。

議員のお話の中にありましたとおり、5,500万円弱の来年度委託料を要求されるという広域のお話でございました。その内訳、私も聞きまして、内訳が、800万円弱ぐらいが一般廃棄物の処理施設の基本計画をつくるんだと、これはし尿が中心だと伺いました。あとそのほかは、測量だとか各種の調査なんだと伺ってございます。

こちらの内容については、広域のほうの議会等に説明があったかと思えます。本広域の取組は、日本の廃棄物処理が、今現在も地球規模で廃棄物の問題、アジアですとかアフリカですとか、いろいろなところであって、今でこそ日本は堅実でよい廃棄物処理システムを有しているんですが、かつてはやっぱり途上国同様の問題に直面してございました。戦後は公衆衛生が悪化をして清掃法ができて、高度成長期に公害問題が発生しまして、水俣病とかイタイイタイ病ですね、そのときに一般廃棄物の処理施設の構造基準が出されて、各種の処理が進むとともに分別収集が始まっていて、その後は我々記憶に新しいのはバブル期のダイオキシン問題、それと不法投棄の問題でございます。

それらを経て、今は廃棄物対策が進み、循環型社会、3Rが進んだことによって、我が国の

廃棄物は減ってリサイクルが高まって、ダイオキシンも激減をして、最終処分量も減っているというような状況でございます。

日本においては、こういった歴史を踏まえて、廃棄物の適正処理を示しておりまして、それに基づいて適正に堅実に処理をしているというところ です。

これを踏まえて、南那須地区においても、平成27年から計画をつくり、基本計画をつくり、候補地を選定していったという経過がございます。焼却が多いというのは日本の1つの特徴だとやっぱり私も思います。ただ、日本の特徴としまして、やっぱり国土が狭い、そこに焼却が多いんだけど、埋立て量は非常に少ない。それによって、環境負荷を低減するということやってきた歴史があるかと思 います。これを踏まえてやってきた焼却方式でございますので、焼却方式のよしあしがきつとあるんだと思 いますが、焼却方式が、全くよろしくないとい うことはまたないのかと考える次第です。

以上でございます。

○議長（洪井由放） 9番小堀道和議員。

○9番（小堀道和） 一通り回答いただきました。

予算の概要、これの表現の仕方はちょっと検討してもらって、いい面をぜひ取り入れてお願いいたします。

それから、2つ目の、このグラフがどうなるかというのは、僕の質問は、施設整備が入ったとか災害があったとか、そんなことじゃなくて、そういうのがなかったとしたら、こんなイメージですよというのが知りたかったので、常にこれを念頭に置いて、これからもいろいろな計画を立ててほしいのと、やっぱり建物の整備はバラさないと駄目ですよ、集中したら話にならないので、その辺をお願いいたします。

それと、企業の魅力発信事業、これは製造業の社長から言われているので、今、課長が答えてくれましたけども、ぜひ成功例を出してほしいんですと強く言われたので、これは振り向いてくれない。働くところがないと言うんだけど、そんなことはないだろうということなので、ぜひ力を入れてほしいと思います。

それと、農林水産業、さっき課長のほうからいろいろ話があったけど、とにかく国・県が推奨しているやつを、地元JAとかも含めて下りてくるんだけど、そのときに、広域でやっているときに那珂川町のほうが助成金が多いといたら、やっぱりうちの市は本当に応援してくれるんだろうかということが出るのは当たり前なので、この前のこの例は、トータル全部那珂川町と同じにしても、計算すると5万円にも満たない金額なんだよね。

それで、あんなにやる気がなくなるというのは、やっぱり反対じゃないかなと思うので質問したので、逆のほうで、那珂川町のほうが羨やむぐらいの感じでいいんじゃないかと思 っ

問したので、ぜひこれはお願いします。

それと、空き家に関しては頑張ってください。

それと、DX計画、これは働く職員が笑顔になる。いいね、これ。ぜひこれ実現してほしいのと、今は計画段階だけなんだけど、特に僕は本市の目玉の事業はどうだという話を聞いたので、今のところは通り一遍のお答えだったかなと思うので、ぜひ、働く職員が笑顔になるような、そんなことをぜひ検討してください。

それと、予算を立てるときに長期の目標値というのは、さっき110億円という話もあったけど、もっと上のレベルの、市長のほうで、こんなふうに将来的には考えているというのがあって、それを受けて、だから今年は何%ぐらいなのかとかいう話に、ぜひそういうストーリーがないと、何かその都度その都度、刹那的につくっているんじゃないかというイメージがどうしても吹っ切れないので、ぜひそういうストーリーづくりをお願いしたいと思います。そうすれば、聞いているほうもある程度頭の中がすっきりするので、ぜひよろしくお願いします。

それと、最後に、南那須地区広域行政事務組合のごみ処理装置は、課長のほうから何で燃やすかというので5分ぐらいしゃべられたような気がするんだけど、そういう質問じゃなくて、答えじゃなくて、やっぱり今の世界的に見ても、燃やさない、埋めないという、そういうことが絶対必要なので、燃やすのもいいことなんだみたいなことは絶対間違いだと思うんだよね。特に、うちの場合には人口減ってくるので、ただ単に燃やすとすると、量が足りないからごみの量が足りないの、燃やしたり消したり、燃やしたり消したりという、もうレンガがぼろぼろになるのは目に見えているので、燃やすのはやっぱり理屈にというか、合わないんじゃないかということが私の中にあります。

やっぱり子供たちに夢を抱かせるような計画が絶対必要なんです。要は、我が市の子供たちに、燃やさないとか、地球環境に優しいというのを一生懸命みんなで行き組んで、子供たちのためにこんなすばらしいごみ処理装置にしたんだよという、そういう明るさを、希望を持たせるような計画にぜひしてほしいんです。だから、そういうことを価値観に考えると、燃やすのはある程度はいいんですみたいなのはぜひぶん投げてほしいんです。

それで、これは今のまま進んでしまうんじゃないかという、そういう危機感を持って質問しているので、どんな方法でそれを担保してもらえるかということ、市長のほうから聞かせください。

○議長（渋井由放） 川俣市長。

○市長（川俣純子） 今、南那須地区広域行政事務組合のほうでは、この衛生センターに関して、やっと用地を市民の方々に予定候補地を発表させていただきました。ただ、コロナ禍にありましたので、住民全員に説明会をすることができませんで、自治会の代表の方に、一応、

報告すべきことを、資料を渡させていただきました。それについて、ほかの自治会の方々も、資料が欲しいという方には普通に配らせていただいています。できたら、早めに、このまん延防止等重点措置が解除されましたら、なるべく説明会を早急に開きたいと思っておりますので、自治会とその辺は密にかけたいと思っております。

それをし始めると、調査費というのがセットでつくようになっております。そのための予算取りであります。決して、地質調査とかというのは、そこが地域住民に納得がしてもらえない限りは、そういうところに踏み込むことはできませんので、この予算自体は繰越し、繰越しとなる予算だと、ほかの地域でも聞いております。決して、予算を取ったから来年度にそれを実行するという予算ではありませんので、その辺をお間違いないようにいただきたいと思っております。

また、たくさんの中から、小堀議員からもおっしゃられているとおりに、燃やす、燃やさないだけではなく、この期間、地域住民の方々といろんなものをどのようにしていったらいいかを相談する期間と捉えさせていただいております。南那須地区広域行政事務組合の議員の平塚議員や中山議員、そして議長にもなっている沼田議員、そして矢板議員、田島議員からもたくさんの御意見をいただいております。また、議長である渋井議員からも、し尿処理に対してはとてもいろんな意見をいただいておりますので、集約が実はし切れておりません。ですから、その猶予期間に皆さんと協議をさせていただきたいと思っております。

また、ちょうど地域住民から、岩川を考える会という方々から要望もいただきましたので、し尿処理等、あと岩川の水の使い方とかもいろんな案を出していただいておりますので、それも協議をさせていただく期間をいただいております。そのための調査費ではないですけど、皆さんから納得をいただいているからの調査費の使用となります。この市から出ていくお金としては、運用費なので、使ったものしか出ませんので、今回の予算計上にはしていますが、同じく繰越しになることが見込まれておりますので、その辺を御了解いただければと思います。

また、強引にしようとは全く思っておりません。できましたら、小堀議員からもありましたように、人口が減っています。ごみの量も減っています。私の中では、私が市長になってすぐのときの広域の議会のとときに、たしか平塚議員からだと思んですけど、広域をこの2つだけの市町の広域だけではなく、塩谷や那須等、広域と連携することはできないかという案をいただきました。今それも調整させていただいております。どうか、私どものごみをうまく調整させていただいて、こちらではリサイクルをすとか、何かそういうこともできないかと。そういうセンターにすとか、使い方をいろいろ検討を今させていただいている段階なので、皆さんからの御意見、要望、そしてアイデアをたくさんいただいて、今、保健衛生センターは進んでいます。衛生センターが進むことによって、し尿処理センターはその後に完成を見込んでい

ます。でも、今回の場合、議長からいいアイデアをいただいているので、もしかすると、し尿処理のほうが先にできるか、その辺も検討させていただきたいと思います。

病院に関しては、来年度、令和4年に一応計画の方針を出させていただくことにしています。そのため、延命をするために、電気と空調は先渡しで改修させていただきました。来年度の予算で、外壁と屋根のほうの改修をし、もう少し持たせるような方向で今進めております。十分に検討させていただきながら、時期をずらして運営していくように努めますので、よろしくお願いたします。

○議長（渋井由放） 小堀議員。

○9番（小堀道和） じゃあ、一言だけ。し尿ばかりじゃなくて、そもそも燃やす、燃やさないところが技術的に、あと業者ももう現れ始めているので、十分に対応可能なので、今のままだと心配だということで、私は何回も質問しているので、それをぜひそういう方向に持って行ってほしいと思いますので、その要望は何回も言って、一応質問を終わりにします。

○議長（渋井由放） 続いて、10番相馬正典議員。

○10番（相馬正典） 10番の相馬です。いろいろ提出させていただいたんですが、先ほど来、いろんなお答えをいただいたので、不明な点だけちょっと教えていただきたいと思います。

1番、2番につきましては、先ほど来いろいろ出ていますが、実施の時期、スーパーティーチャー育成事業とメノモニー市派遣をもしやるのであれば、いつ頃実施するののかというのがちょっと気になったので、教えていただければと思います。

それから、3番目の文化財の調査費なんですが、毎回質問して恐縮なんですけども、先ほど東山道の発掘調査費と、あと烏山城の申請に関わる経費だということなので、烏山城のほうの申請についてだけ、再度ちょっと詳細に教えていただければと思います。

4番目が、6ページ、中山かぼちゃのブランド力向上支援事業、新規栽培農家支援等に関する経費ということで、毎年計上されてはいるんですけども、新規農家というのは、実際のところ増えているんですか、減っているんですか。それから、今後見込んでいるのかと。もしそういう方がいたときは、どんな支援をするのかということについて教えていただきたいと思います。

その次が、6ページの経営所得安定対策直接支払い推進事業費516万円何がしですが、事業内容について教えてください。

次、6ページの農政課の森林経営管理制度事業費、森林管理意向調査及び集積計画策定等に関する経費ということで1,000万円何がしがあります。この事業内容を教えてください。

7ページです。上下水道課さんで、浄化槽の設置事業費、浄化槽設置整備費補助に関する経

費ということで2,000万円、本年度の見込みはどのぐらいなのかと。また、いわゆる下水道が引かれている市内においても、本管は来ていないというか、枝線というんですか、それも来てなくて、本管までの距離が非常に長いというような場所があるんです。うちのほうにもあります。そういった場合は、工事費が相当な額が発生してしまうので、新しく家を建てようとしてもなかなか難しいと。そういった場合の補助というのはできるのか、できないのか、その辺もちょっと教えていただければと思います。また、その浄化槽を個人で設置してもいいのかということについても教えてください。

予算書の168ページ、熊田診療所特別会計予算です。いよいよ39万6,000円と、基金残高がなくなってしまいました。今後の予定、どうしましょうかということについてお伺いしたいと思います。

以上です。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） それでは、学校教育課関係で、文武両道教育推進事業、こちらの質問をいただきましたので、お答えさせていただきます。

まず、スーパーティーチャー育成事業ですけれども、令和3年度の実績と実施時期ですが、まず、当初、秋田県の秋田市へ視察を予定しておりましたが、受入先の秋田市のほうでコロナ陽性者が出てしまいましたということで、そういった理由もありまして、視察を中止いたしました。

また、ICTの有効的な活用に関する研修というのを真岡市で行っております。こちら、当初9月を予定していたんですが、やはりコロナ禍の中ということで、小学校が11月、中学校は12月の実施をしております。令和4年度なんですが、福井県の福井市に視察予定をしております。小中学校に分けて、小学校が春と秋に実施を予定しております。代替案については、今のところ検討はしていません。

続きまして、夢の教室、こちら、日本サッカー協会で開催しているものですが、令和3年度におきましては、コロナ禍の中ですので、全てオンラインで実施いたしました。市内5つの小学校の5年生7学級が、10月から1月まで実施をしております。ちなみに、夢の先生、どういった方かといいますと、元日光アイスバックスのアイスホッケー選手、それとラグビー選手、ソフトボールの選手、あと劇団四季のミュージカルの俳優の方も夢の先生として実施をさせていただいております。こちら、夢の教室の代替案につきましては、コロナ禍の中でもオンラインでできることから、代替事業については考えておりません。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 水上生涯学習課長。

○生涯学習課長（水上和明） 私のほうからは、概要版6ページ、文化財調査費の中の烏山城跡の国史跡申請に係る事業費ということで御説明申し上げます。

まず、遺跡の整理作業員の報酬、約5名分の報酬と、それと烏山城跡調査指導委員会がごさいますので、その調査指導時の報償金、それと委員さんの費用弁償、それと今度文化庁への申請事務等がごさいますので、そういった関係の職員の旅費等が調査費の烏山城に係る部分の事業費ということになります。

以上です。

○議長（渋井由放） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 私のほうからは、概要版の6ページの中山かぼちゃブランド力向上支援事業についてお答えしたいと思います。

まず、令和3年度の、中山かぼちゃの生産者でございます。部会員は9名でございます。作付面積が1.3ヘクタール、1町3反という内容になってございまして、御質問ありますように、何人ぐらいを毎年見込んでいるのかということなんですけども、今現在中山かぼちゃの生産は本当に危機的な状況でございます。何人というよりは、本当に1人でも多くの方を見込みたいと考えてございます。令和4年度につきましては、幸い大木須で1名、向田で1名、2名増える予定になってございます。計11名、作付面積も30アールほど増えまして、1.6ヘクタールまで増やす予定にはなっております。ただ、まだまだ全然足りません。南那須地区には南ちゃんかぼちゃ部会というのもございます。できれば、中山かぼちゃ部会と一緒になつて、中山かぼちゃの生産振興に努めていただきたいところなんですけど、なかなか中山かぼちゃ部会の理解が得られなくて、なかなか南那須地区に栽培を持っていけないというのが現状でございますけども、何とか支援したいと思っております。その支援内容としましては、新規栽培者につきましては、資材費の補助、または補助整備の補助、あと普通のかぼちゃに比べて、中山かぼちゃはかなり栽培管理が大変なものですから、その研修経費補助なんかも考えてございます。

中山かぼちゃについては以上でございます。

続きまして、経営所得安定対策直接支払い推進事業でございます。

こちらにつきましては、那須烏山市の農業再生協議会の事務の経費となっております。内訳としましては、経営所得安定対策推進事業費、年額で516万1,000円計上させていただいております。内訳ですけども、まず、市の単独事業として20万円、こちらにつきましては、市のほうで洋野菜を振興してございます。その農業者に対して10アール1万円を補助する事業になってございまして、これが20万円。あとは、国のほうの100%補助ということで、市の農業再生協議会の事務員の人件費等も含めた経費でございます。これが486万

1,000円。さらに、県と市2分の1の持ち出しで10万円ずつでございますけども、農業団体需給調整推進事業費ということで10万円、合わせて全部で516万1,000円ということで、全て市の農業再生協議会の事務経費となっております。

続きまして、市民経営管理制度事業費でございます。

こちらの経費でございます。まず、市については、市内に経営管理が行われていない山林がある場合、もうほとんどです。経営管理が行われていません。ある場合については、森林所有者に代わりまして、経営管理、集積計画というのを立てることになってございます。その際に、森林所有者から意向調査を行いまして、森林経営を市に任せますかという意向調査を行います。ほとんどが任せますということになると思うんですけども、いや、自分でやるという方は別ですけども、その意向調査に基づきまして計画を立てます。その後、計画が定まりましたら公告ということになるんですけども、この公告をもって経営管理権が市に移ると。そして、この経営管理権を発動するために、森林環境譲与税なんかを活用しまして間伐を行うというような中身になってございます。

それで、令和4年度でございますけども、その計画に関わる森林計画についてが全部で674万6,000円を計上して計画を作成したいと考えてございます。

さらに、その計画に基づいて間伐を実施したいと考えてございます。令和3年度、田野倉と大木須の予定でございましたけども、田野倉でしか間伐作業ができませんでした。大木須等も、計画をもう一度見直しまして、間伐作業等を行いたいと思います。それが360万円というような中身になってございます。

以上、森林管理制度についての説明とさせていただきます。

以上です。

○議長（渋井由放） 高田上下水道課長。

○上下水道課長（高田 勝） 概要版の7ページの、浄化槽設置事業費、浄化槽設置整備費補助に関する経費についてお答えします。

来年度の浄化槽の見込み数については50基を予定しております。その内訳が、5人槽が26基、7人槽が22基、10人槽が2基の予定としております。そのほか、単独浄化槽の撤去費補助金もありまして、こちらは15基を予定しております。市内で下水道管までの距離が長くて工事費が膨大になる場合、浄化槽での対応は可能かというところなんですけども、基本的に、下水道区域については下水道に接続するというのが原則でありまして、その都度、協議はいたします。地形やコストの要因で容認したケースはございます。その場合、補助がされるのかですが、こちら、下水道区域外が浄化槽の補助対象となりますので、補助対象外となります。

以上です。

○議長（渋井由放） 大谷市民課長。

○市民課長（大谷啓夫） それでは、私のほうから、予算書168ページ、熊田診療所特別会計のほうの今後の対応についてお答えいたします。

熊田診療所につきましては、数年前から、決算審査とかで議員のほうから御指摘のあるとおり、大分経営状況が悪いということでございまして、先ほど青木議員のほうにも答弁したとおり、嘱託医とか産業医のほうを、積極的にやっていたような状況でございまして、やはりそれほど収入のほうには至っておりませんで、厳しい財政状況ということには変わりございません。

そのため、今年、熊田診療所の今後の在り方について検討を始めたいと思ひまして、1月に、下江川地区の住民を対象にアンケートを実施しております。こちらについては、20代以上の400人を無作為抽出いたしましてアンケートを取りました。取りあえず1月末までということでアンケートのほうは実施しているんですが、そちらの封筒のほうは2月いっぱいまで有効なものですから、そちら、2月でアンケートのほうが届いておりまして、現在集計中でございます。そちらのほう、取りまとめましたら議会のほうには報告はしたいと考えておりますが、令和4年度には、ある程度の方向性は出したいと考えてございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 10番相馬正典議員。

○10番（相馬正典） 細かく教えていただきまして、ありがとうございます。

何点か伺いたいと思うんですが、中学生海外派遣事業、これ、2年間駄目であると。今後も、コロナが恐らく収束するということは考えられないと思うんです。ですから、教育長も、もう本当に肝煎りの事業ではありますが、一步前へ進めていただいて、ある程度の決断をするときかと思うんですが、それは私の意見として聞いておいてください。

あと、皆さん、事細かに教えていただいたので十分分かりました。上下水道課さんで、下水道に接続するためには協議をしたことがあるということで、それは、協議の上、オーケーとなったとか、駄目だったとかいう話をちょっと伺えればと思います。うちのほうの周りですと、ちょっとお寺の境内が絡んでいまして、本管まで行くのに多分200メートル、300メートルぐらいかかるんです。そうすると、とてもじゃないですけども、個人的に、その費用が果たして負担できるのかということをお伺いしたものですから、そんな質問をしました。その辺も協議についての結果について教えてください。

あと、熊田診療所については、もう何年も前からこういう状況が続いて、いよいよ基金が多分そろそろ枯渇していくとなると、毎年1,000万何ガしの一般会計からの繰り出しをしな

くてはならないということですので、やはり一歩前進した検討をしていただいて、アンケートの調査が分かりましたらば教えていただきたいと思います。

お願いします。

○議長（渋井由放） 高田上下水道課長。

○上下水道課長（高田 勝） 距離が長かったりコストがかかってしまうというところで、どうなのかというところで、過去には、地形やコスト的な要因で容認したことはございます。ですから、認めたというような形にはなると思うんですけども、あとは、下水道の大原則なんですけども、やはり排水設備に、下水道設備に接続しなければならないというところになっておまして、ただし書がありまして、特別な事情によりというところがありますので、こちらに当たるのかどうかを判断させていただいて容認するというような形になると思いますので、よろしくをお願いします。

○議長（渋井由放） 10番相馬正典議員。

○10番（相馬正典） 了解です。

○議長（渋井由放） 次、ございませんか。

11番田島信二議員。

○11番（田島信二） 5点ほど伺います。

予算書23ページ、道路メンテナンス事業費補助金、この内容。

あと、23ページ、農地農業用施設災害復旧事業費補助金、この内容。

あと、114ページ、スーパーティーチャー育成事業なんですけど、学校にスーパーティーチャーというのは何人ずつ配属になっているのか、各学校を教えてください。

77ページ、道路整備費、これの内容、辺地道路整備事業費、これの内容、よろしくをお願いします。

○議長（渋井由放） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） 田島議員から御質問いただきました、土木費国庫補助金の道路メンテナンス事業補助金の1,260万9,000円につきまして、これにつきましては、橋梁等の長寿命化に向けましての定期点検を実施するための補助金でございます。

令和4年度におきましては、橋梁を34橋、トンネルを2門の点検を実施する予定でございます。

続きまして、77ページ、道路整備費1億4,810万円につきまして、説明申し上げます。箇所につきましては、社会資本整備交付金を活用して整備を進めております6路線でございます。まず1つが、広域農道グリーンラインの大桶白久方面から那珂川町へ通じる大桶白久線の整備でございます。2つ目が、県道熊田喜連川線の三箇の丁字路交差点からさくら市方面へ通じる

西野三箇線でございます。こちらにつきましては、令和4年度をもって完了工区としたいと思っております。3つ目が、神長地内、那須烏山消防署の東側の路線であります関下精進場線でございます。4つ目が、富士見台工業団地内の富士見台工業団地線でございます。5つ目が、上境地内、三ツ木松ノ木線でございます。6つ目、こちらが七合小学校の通学路として整備しております谷浅見平野線でございます。

続きまして、市の単独事業として実施をしますのが2路線でございます。1つが、県工事、荒川の災害復旧助成事業で整備をいただいております向田地区におきまして整備します向田落合線、もう一つが、同じく県の工事、田野倉交差点の改良に合わせまして整備します田野倉地内の安楽寺近くの田野倉大金線、こちらの2路線でございます。合わせまして8路線の工事費と、その路線の整備に当たりまして必要となります土地購入、それから物件移転補償費を計上いたしましたものでございます。

続きまして、辺地道路整備事業費8,020万円につきましては、財源を、辺地債を活用して事業を進めているものでございます。滝口議員から一般質問いただきました広域農道グリーンラインの下川井柏崎線、それから田野倉から曲畑へ通じる田野倉曲畑線の2路線を整備しております。4年度におきましても、グリーンライン下川井柏崎線を重点的に予算配分を行いまして、事業促進を図ってまいりたいと思っております。

どうぞ御理解をお願いしたいと思います。

○議長（渋井由放） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 私のほうからは、予算書23ページ、農地農業用施設災害復旧事業費の補助金について御説明申し上げます。

こちらにつきましては、令和元年の台風19号で、下川井地内の橋梁が、橋脚が1つ沈下しまして、その災害復旧に関わる補助金でございます。

令和元年、台風19号災害でありまして、早急に復旧はしたかったですけれども、全協でもお話ししましたように、なかなか工事が難しいということで、入札が不調になっておりました。今年に入りまして、1月によりやく落札業者が決まりましたので、改めて、令和4年度で工事を行う事業となっております。ただし、出穂期についてはちょっと工事できませんので、工事については、稲刈りが終わりました10月以降等、本格的な工事に入りまして、下川井の橋梁の復旧工事を令和4年度中に完成させたいと思っております。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） 予算書114ページ関連で、スーパーティーチャー、今現在何名いるかということなんですけれども、まず、研修が2つ、それぞれありまして、県外研修

でスーパーティーチャーになるケースと、県内研修でスーパーティーチャーというのがあります。

県外研修でスーパーティーチャーで、今現在、市内の学校にいらっしゃる先生方は8名です。

県内研修ですけれども、こちら、希望者ですので、全ての学校に満遍なくスーパーティーチャーがいるということではないんですけれども、こちら約20名ほど市内にはおります。

以上でございます。

○議長（渋井由放） よろしいでしょうか。

ここで暫時休憩いたします。再開を15時といたします。

休憩 午後 2時50分

再開 午後 3時00分

○議長（渋井由放） 休憩前に引き続き再開いたします。

14番沼田邦彦議員。

○14番（沼田邦彦） 14番、沼田邦彦でございます。

令和4年度那須烏山市当初予算総括質疑に当たりまして、たくさん質疑をしたいところではございますが、30分しかございませんので、主要事業、さらには、前年度に比べて増減の大きな事業について数点お伺いをいたします。

まず最初に、1ページ、予算規模の推移であります。合併当初に比べますと、着実に年度末市債残高が当初予算を下回る、目に見えて成果が出ていると思います。健全財政を意識したときに、令和4年度の予算編成の手応え、さらには今後の見通し、当初予算規模、あるいは年度末市債残高のバランスについても伺います。

2つ目、4ページです。旧熊田小学校の解体事業の設計費が計上されております。解体の時期、また今後の跡地利活用についても伺います。

次に、5ページ、放課後児童健全育成事業について伺います。前年度に比べますと約1,500万円の増となっておりますが、その増の理由、さらには新体制の詳細についても伺います。

次に、27ページ、各小中学校の運営費、教育振興費の内容、予算の性質について伺います。

次に、同じく27ページ、各小中学校のスクールバス運行費に着目をしますと、各小学校、中学校の運営費を上回っているところが多いわけではございまして、中には、2倍、3倍の運行費がかかっております。かかるものはかかるものとして仕方ないとは思いますが、この予算を考えたときに、どのような考え方、所感があるのか、今後の在り方についても伺います。

そして、最後、26ページ、高等学校教育振興事業費、いわゆる地元県立高校の補助費であ

ります。昨年は240万円を計上しております、今年はゼロとなっております。経過については理解をしておりますけれども、地元県立高校との関わりを考えたときに、果たしてこれが最終的な答えでよろしいのか、まだまだ経過の途中で考えがあるのか、それについても伺います。

○議長（渋井由放） 菊池総合政策課長。

○総合政策課長（菊池義夫） 健全財政の手応えと今後の見通しということで御質問いただきました。

令和4年度の予算については、概要書のとおりまとまったところではございます。予想では110億円規模ということで、各課の予算調整をしまいいりました。111億6,000万円という規模については、国体も開催する年でもあり、新しい集団移転の促進事業にも取り組まなければいけないということで、やはりオーバーした部分はございます。ただし、先ほど小堀議員の質問にもお答えしたとおり、各課においては、やはり財政厳しい折ですから、各課内においてしっかり精査をして要求をしていただきました。その結果、査定当初はかなりのオーバー額ではございましたけども、何とか110億円強には収まったところでございます。この1ページにあります予算の推移でもお示しのとおりでございますが、現状のまま推移したと仮定しますと、やはり市債につきましても、この予算概要1ページに示した水準で減少していくものと推定しております。この状況をさらに続けていくことが健全財政につながるものとも思っておりますし、一番はやはり、村上議員にもお答えしましたけども、自主財源の比率です。やはりこれがなければ、なかなか思うような事業ができませんし、社会保障費の部分についてもますます増額傾向ということもありますので、しっかりした中長期財政計画、シミュレーションしていきながら進めてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（渋井由放） 水上生涯学習課長。

○生涯学習課長（水上和明） 私のほうからは、概要版の4ページ、旧熊田小学校の解体事業の解体時期、また跡地利用ということでお答えさせていただきます。

解体の具体的な時期につきましては、現時点ではまだ決まっておりませんが、令和5年度以降の早い時期に実施したいと考えております。跡地利用につきましても、現時点では白紙の状態でございます。解体の時期も含めまして、地元自治会と相談協議の上、有効に活用できるように検討してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（渋井由放） 川俣こども課長。

○こども課長（川俣謙一） 概要の5ページ、放課後児童健全育成事業費、令和3年度が5,989万5,000円、これが令和4年度7,419万4,000円ということで、増額の理由と、あと新年度体制の詳細についてお答えしたいと思います。

初めに、増額の理由でございますが、令和3年10月1日から最低賃金が引き上げられたことによる対応、これが上がったことによって対応しないといけないほど賃金が安かったです。近隣の学童支援員の雇用賃金よりも安いいため、同等になるよう、人件費の見直しを大幅に行ったことによる給与等の増額となっております。また、これに伴いまして、社会保険料等の法定福利費も増額したことによるものです。

この金額につきましては、既に昨年9月の補正予算、3年間の債務負担行為の中で2億2,200万円ということで承認されまして、単年度に直しますと7,400万円ということで、今回、上限の予算計上、7,400万円を委託料として計上しているものです。

次に、新年度体制につきましては、現在の特定非営利活動法人野うさぎくらぶから、新たにシダックス大新東ヒューマンサービス株式会社へ委託先が変わります。クラブ数は、現在と変わらず9か所になります。烏山小が3クラブ、荒川小が2クラブ、江川小も2クラブ、七合小1クラブ、境小1クラブの合計9か所になります。

人数につきましては、令和3年度、通常時の利用が298名、令和4年度の申込みがあったものが通常時で287名、令和3年度の長期、あと臨時、そちらの申込みが59名、令和4年度の長期臨時が73名、合計しますと、令和3年度357名と、令和4年度360名ということでほぼ同数となっております。

以上です。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） それでは、27ページ、小中学校運営費、それと教育振興費、こちらの詳細と予算の性質についてということですが。

まず、運営費の関係でございますけれども、事細かに説明しますとかなり時間を要しますので、簡単に説明をさせていただきたいと思っております。

まず、運営費、どういったものかといいますと、学校にかかります、例えば電気代、水道代の光熱水費、学校のちょっと壊れたところを直す修繕代、それと通信運搬費、そういったもの、その名のとおり学校教育活動の充実をさせるための費用、それと学校施設整備の維持管理、教育環境の整備に関する経費、どちらかといえばハード的なものと考えております。

それと、教育振興費のほうですけれども、学習とかそういったものに対する経費とか、要保護とか準要保護の児童生徒への援助費などを計上しておりまして、校外学習用のバスの運転の委託料とか図書購入費、それと先ほど言いましたように教育扶助費、そういったものを計上しているところでございます。

それと、各小学校、中学校のスクールバスの運行費についての所感と今後の在り方ということですが、現在、市内の小中学生約1,600名ほどいるんですけれども、そのうちの

48%ほど、770名ほどがスクールバスを利用しております。

スクールバスを導入された目的というのは、お分かりだと思うんですが、2005年の12月に、旧今市市で、小学校から下校途中の小学校1年生の女の子が行方不明となり殺害された事件があつてから、全国的にも、このスクールバスの導入を求める声が高まっております。本市でも、いち早く、こちらスクールバスを導入して運行してきておりまして、現在は29路線を運行しております。そのうち、市有バスは13台で運行しております。こちらのスクールバスの必要性は、今も変わらずございます。しかしながら、児童生徒数は減ってはきているものの、運行ルートは毎年変更がないため、バスは運行しなくてはならぬ、費用も大きく減少することはありません。本市の児童生徒の安全安心のためには必要な経費だと捉えております。また、市有バス等の型式が古く、延べ数、距離数も増えていることです。修繕費も増えているため、市有バスを徐々に廃止し、業者への運行委託の検討が必要であったり様々な問題、課題発生しておりますので、一部は学校運営協議会にも問題を投げかけていることもありますので、そういったところから意見をいただきながら、スクールバスの運行については検討させていただきたいと思っております。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 田代教育長。

○教育長（田代和義） まず、スクールバスについてちょっと補足させていただきますが、課長から説明ありましたように、現在中学校区で学校運営協議会を実施しているわけですが、第1回目のときに、両中学校区の学校運営協議会で、スクールバスについて話し合いを進めていただきたいと。大ざっぱに言って1億円かかっていると。なおかつ、全員がそれを享受するわけではないので、どのような形がいいか、まず、問題を、共通意識を持っていただいて、ちょっと私が、そこで、幼稚園は5,000円取っているんだみたいな話をしちゃったものですから、上げるんですかとか、取るんですかみたいな話になっちゃったので、そうではなくて、まず、共通認識として、非常に市の財政負担が大きいのと、全員が享受しているわけではないというようなところで、何か考えが新たにあるか、または、皆さん、それを知らなかったのであれば理解してほしいということで、話し合いを進めてもらっている状況です。ただ、今年は、後半、コロナで集まることができませんでしたので、そのような形で今話し合いをしていたかどうか情報提供しているという状況です。

それから、烏山高校等につきまして、通学費補助を実施していたわけですが、今年度で終了ということになります。経過については、議員御存じのとおり、私が校長のときに、那珂川町と那須烏山市で補助していただくということで大変感謝申し上げます。ただ、3年間という期限付の補助でしたので、お願いした後、1期6年、実際に実施いたしました。その後、

上限を少し設けて、最初は那須烏山市のほうは青天井だったんですが、上限を設けて1万5,000円とか、1万円から1万5,000円という上限を設けて実施して、2期目の最終年度に入ってきた1年生が卒業するまで、トータルで8年になると思うんですが、今年度で終了ということになりました。

今回、ほかにどのような支援が考えられるかというような話でございましたので、一、二年前から、財政当局その他と、できれば、もともと私と烏山高校の杉山校長がお願いしたのは、通学定期の割引率を増加してほしいというような要望を出したんですが、そちらが難しいので現金支給みたい形になってしまったという経緯があるんですが、現金支給で予算云々というよりは、もともと通学定期の割引率を大きくして、乗りやすい、来やすいという形がよろしいんじゃないかと。実際問題として、芳賀地区から二十数名が来ていたのが、今、ゼロというような状況になっています。この二十数名がいれば、1倍超えるか超えないかよく分かりませんが、私、計算していないので、ただ1クラス減で今4クラス160人という状況の中での二十数名というのは非常に大きな数になりますので、今後さらに、市長、それから財政当局と話をしながら、そのような形を考えられるのではないかとということで、今後、討論を進めていきたいと考えております。

以上です。

○議長（渋井由放） 14番沼田邦彦議員。

○14番（沼田邦彦） 一通り答弁をいただきました。おおむね理解はできるところですが、幾つかまたお伺いしたいと思います。

予算規模の推移について、先ほど小堀議員からも質疑がありましたけれども、合併をして今日まで、努力の成果が、この形として見えてきているわけで、落ち着いてきている状況だと思います。これから大型事業が目に見えるわけですから、このバランスがどこまでいい形で抑えられるかがポイントになってくると思いますので、しっかりと税収の確保と、県、国との補助をいい形で那須烏山につなぎ込む、このような作業をしっかりとさせていただきたいと思います。

次に、熊田小学校については了解しました。いずれにしましても、公有財産の有効利用、あるいは売却というんですか、方向性を早く定めて、いつまでも寝かせる状況が続かないように進めていただきたいと思います。

放課後児童健全育成事業です。大体、詳細については分かりましたけれども、今までどの運営団体が変わるということですが、この大きな変わる理由とか運営方式ですか、変わるようなことがもしあるならばお伺いできればと思います。

小中学校の運営費、教育振興費、スクールバスの予算のバランスなんですけれども、極端に言えば、スクールバスの絶対の必要性は私も理解をしております。年間約1億1,000万円

かかる予算が、もし半分で抑えられて、その半分が小中学校に投入できれば、学校側のメニューも増えてくるわけで、どれが正しいかということではなくて、この運営費と教育振興費とスクールバスの運行費の在り方、これからもしっかりと検討を進めていただければと思います。

次に、烏山高校の交通補助の件であります。

教育長の答弁で、芳賀地区からの高校生が二十数名、今まで見えていた生徒がゼロになってしまったという変化も見えてきているわけでございます。やはり、烏山高校の地元、あくまでも県立ですけれども、側面支援という形は永遠のテーマだと思いますので、これからもしっかりと関わりを持って側面支援ができるようお願いをいたします。

○議長（渋井由放） 川俣こども課長。

○こども課長（川俣謙一） 委託業者が変わることによって運営のほうが変わるのかということですが、まず、現場の支援員のほうにつきましては、現在、お手伝いいただいている支援員さんを、希望は取りますが、基本的には継続して採用するということでもありますので、現場のほうは、さほど変わらないのかと思います。あとは、そもそも大きな団体なので、例えば支援員さんか悩みとかがあった際に、オンラインでの専門のカウンセラーだったりとか、あと保育士だったりとか、あと栄養士とか、そういった方がいらっしゃると思いますので、そちらとのやり取りができるということもあったり、オンラインでほかの県、市外とか、そういう学童ともつないで、子供たちがお話もできるなど、そういったいろんなメリットはあるんだと思います。直接、運営自体は大きくは変わらない予定です。（「了解です」の声あり）

○議長（渋井由放） 続いて、15番中山五男議員。

○15番（中山五男） 既に質問事項を18項目出しておきましたが、そのうち5項目ほど、同僚議員の質問によって少なくなりました。それで、4項目の、これは通告なしに質問申し上げたいと思っています。

まず、予算概要から、ほとんどこれ予算概要からなんですが、まず歳入の件です。15ページの市税ですが、固定資産税、今年は9.4%ほど増額になるようですが、多分これは太陽光発電に関する増額じゃないかと思うんです。

私、そこで聞きたいのは、今年の固定資産税およそ17億円のうち、太陽光発電に関する固定資産税というのは幾らほど計上しているか、これについてお伺いします。

2点目、お伺いします。国庫補助金の、私が先に出したというのは2番目ですが、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金、これは3,960万円ありますね。これは、どのような事業に支出するのかお伺いをいたします。

1つ飛んで、今度は支出のほうです。総務費の地域おこし協力隊事業費、今年は819万8,000円計上しています。問題は、意欲ある隊員が募集できるのか。誰でもいいからでは、

全くこれは意味がありませんので、無駄遣いになりますから、この辺のところをお伺いします。その意気込みのところを聞きたいと思います。

次に、22ページ、総務費なんです。市議会議員の選挙の費用が今年2,900万円ほどかかるとして計上しましたが、そのうち、公費負担にかかる内訳、何が幾ら、何が幾ら、簡単でいいですよ。お願いします。

次に、23ページの同じく総務費なんです。七合保育園の跡地については、去年は解体で予算計上しましたが、今年ゼロです。そこで、利用を何かに考えているんでしょうか。国道沿いの平らな土地、あのままではもったいないと。ぜひ活用をお願いしたいと思いますが、このことについて、何もないでは、私は済まされないと思いますので、このことについてお伺いをいたします。

25ページの農林水産業費です。農業基盤力、これは下川井のほうの関係で、先ほど同僚議員で分かったんですが、この農業、農林水産業で担当課長にお伺いしたいんですが、今年予算の中で棚田の保全に関する予算というのは計上されているんでしょうか。課長、先週土曜日、5日、NHKで9時から、これは新潟県の星峠の棚田だということで、1時間番組で放送されました。どなたか見たかと思います。これは、日本農業の原風景として残さなければならないとして強く訴えておりました、番組の中です。今日か明日か、二、三日のうちにまた再放送もされるんじゃないかと思います。見ていなかったら、課長さん、これぜひ見てください。このことについてお願いをしたいと思います。

次に、土木費の橋梁とかトンネルの点検なんです。これ、法令上、5年に1回点検しなければならないと定めてあると思うんですが、実際にそのような点検をされているのかどうかです。

次に、同じ土木費、道路維持管理費です。これは舗装の修繕、それに道路のセンターライン、路肩のライン、これは随分、これも消えています。舗装も大分傷んでいるところがあります。これらについて、まず、私、担当課長にお伺いしたいのは、なぜあのまま、もう修理できないのか。課長として、情熱を持って財政担当のほうに訴えているのか。訴えたにもかかわらず、この財政担当ではそれを認めてくれないのか、この辺の事情について私はお伺いをしたいと思います。

次に、同じく26ページ、土木費の集団移転費ですが、3,300万円ほどです。これは確実に事業を実施しなければならないと思います。これほど多額の公費を負担しながら、いや、駄目だ、失敗しました、集団移転は取りやめですということになると、これこそ大変なことになりますから、腰を据えてやってもらいたいと思いますが、その辺の覚悟のほどをお伺いをしたいと思うわけであります。

防災無線管理費は分かりました。

今度、予算書から、まず、98ページの給与明細書の中のその他の特別職、特別職というのは1,167人で6,343万円も支出することになっているんですが、これはどういう方なのか。職名だけお伺いすればいいです。それぞれの金額は結構です。

113ページの道路愛護会の補助金、これは都市建設課長のほうなんですけど、去年から比較しますと、それぞれ20万円を減額していますね。これは、減額した理由として、自治会の作業実施日が減少してしまっている、だから減額しているんでしょうか。これは重要な作業なんですけど、自治会からそれほど協力が得られない体制になっているんなら、自治会長に対して、課長、説得しなくちゃならないんです。この辺、説得しているのかどうか、それについてお伺いをいたします。

それに、烏山高校の通学費、それは、今沼田議員が質問をいたしました。これは、教育長も御承知のとおり、この烏山高校の出願率、去年は1.02という1倍を超えましたが、今年の最終日は0.82倍ですよ。これは、私もやはり、通学費補助、これをカットしたための、結局、烏山高校に来るための条件がよくなかった、悪くなった、だからこんな結果になったのではないかと考えていますので、もしそうだとしたら、これ、来年度は復活すべきじゃないかと考えていますので、考えておいていただきたいと思います。

次に、241ページの農業集落排水事業です。

これは、送水管、配水管関係、当面、この機械を含めて、この大きな修理をするようなところがないのかどうか、簡単をお願いします。

次に、261ページに下水道事業の浸水対策、これは万全なんじゃないでしょうか。昨年の予算で、止水板を用意しましたね。問題は、緊急時に必ず設置する体制が整っているのかどうか、これです。例の台風19号浸水のと、城東地区に大きな被害をもたらしましたね。その原因は御承知のとおりでありまして、その責任というのは、都市建設課もあるが、私は上下水道課もどっちもあるんじゃないかと、そう思っています。この辺のところ、万全かどうか、お伺いいたします。

次、最後、285ページです。水道台帳システム導入としているんですが、ここで伺いたいのは、水道管の更新の事業計画です。これは、きちっと立てて計画どおりにやれるのかどうかです。

あと、追加の分、4点お伺いします。

これ、市長さんにまず1点申し上げたいんですが、市長さんは、歯科の医師であることから伺いたいんですが、昨日の新聞を見ますと、高齢者の口腔機能低下を予防するために、口腔機能の集団検診を県内では既に12の市町が無料で実施しているそうなんです。このことについて

てどのように考えるか、市長さんにお伺いをしたいと思います。

次に、概要版の19ページに、ふるさと納税、今年は500万円を見込んであります。令和2年度は赤字だったんです。今年はそうならないように、どのような対策を考えているのかお伺いをします。

次に、22ページに高齢者免許の自主返納772万円あります。どうも、これは高齢者運転は悪だというような、そんな感じを、私も高齢者として感じているんです。私が聞きたいのは、高齢者と高齢者以外の若者の年代別のそれぞれの運転の事故率はどうなんでしょうか。この辺のところ、調べてあるんでしょうか。これは新聞でも何でも、たまたま取り上げられるのは高齢者の事故ばかりですよ。どうも高齢者は悪だというような感じを受けているんですが、この辺、どうなのかをお伺いをしたいと思います。

最後に、21ページで人事管理に関する予算が550万円ほどあります。その中に、課長を対象とする研修費も含んでいるんでしょうか。このことについて伺います。

以上にします。

○議長（渋井由放） 高濱税務課長。

○税務課長（高濱裕子） 私のほうは、予算概要の15ページ、固定資産税についてお答えいたします。固定資産税が増額になりましたのは、議員がお見込みのとおり、大規模の太陽光施設が昨年稼働しましたので、そちらの分などが増額の原因となっています。

太陽光について、何%ぐらいあるかということなんですけど、申し訳ないんですけど、太陽光だけでちょっと算出難しかったので、償却資産として計算いたしました。今回の大規模太陽光施設を除きますと32%、今回の新規の大規模太陽光を入れますと、償却資産が36%になります。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 川俣市長。

○市長（川俣純子） すいません、私のほうから先に答えさせていただきます。

歯科のほうの高齢者口腔機能検査について御質問いただきましたので、これは、実はもっと前から国保のほうでやっているところがありました。今回、歯科医師会のほうから出てきたのは、舌圧とか、そういうものを測ってほしいというのが出てきました。要するに、誤嚥性肺炎にならないために、どれだけ舌圧の力があるかというのを測定していくことで改善するのではないかというのを、私のほう個人としては、それは伝えてもらっているんですが、うちのほうで今後どうしようかというので、そこまでやってもらうドクターがいないので、今のところ、歯科医師会と協議をさせてもらっています。

私としましては、実は来年度は、いきいきサロンとかふれあいサロンというのがありますの

で、私、どうせ訪問をするので、そのときに御相談を受けたり、そういうことをしていこうというのをまず考えておりました。それをさせて、ニーズをちょっと考えさせていただくと、検査対象が75歳で75歳だけをしてくださいというと、ピックアップなので、なかなか今まで検査にそういう方はいらしていただけていないので、その辺は歯科医師会と協議させていただき、来院されている方からしていてもいいみたいな話もあるので、その辺はちょっとさせていただきたいと思っています。

まずは、そういういきいきサロンとかで啓蒙をさせていただく仕事を、私自身が歯科医師でするので、今年度というか今期からは少し私の力もそういうのに使ってもいいのかなと思うようになりましたので、入れていきたいなと個人では思っていますので、それを業務の中に組み込んでいきたいと思っています。

○議長（渋井由放） 菊池総合政策課長。

○総合政策課長（菊池義夫） 国庫支出金、概要書16ページですが、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金について御質問がありました。

この上記の歳入の支出事業名はとありますので、概要書の23ページに記載があります、中段ほどの児童福祉事業費、予算額948万6,000円、こども課の事業になりますが、ここに3,960万円のうち552万円ほど国庫支出金を充当いたしております。

さらに、27ページの中段ほどにあります幼稚園管理費、予算総額120万8,000円でございます。この予算に対して42万円ほど充当いたしております。

最後のページ、28ページの下のほうになりますが、学校給食センター運営費、1億2,973万1,000円のうち3,366万円ほど充当しております。内容については、給食センターについては給食費の助成、そのほかについては副食費の助成ということでございます。

それから、ふるさと納税の今後の対策についてという御質問でございますが、今年度の予想でいきますと、令和2年度に比べますと、合計で約2,400万円以上、実際に今調定が上がっておりますので、かなり昨年よりはアップしております。件数についても、今のところ2月の段階で690件は超えておりますから、またさらに数件は増えるものと思っております。ただし、トータルの赤字じゃないかと、昨年度私も報告いたしましたけども、対策としては、今考えていますのは、予算に特別計上はしておりませんが、返礼品等の委託をこれまで観光協会にお願いしていたんですが、これを業務委託でお願いする、今、検討しております、業者と交渉中でございます。そうなれば、予算については、同額、今年度の予算で対応いたしますけども、そういった部分で、返礼品の対応等が変わっていくのではないかと考えますし、職員の負担軽減にもつながっていくのではないかと考えているので、取り組もうということで、今、業者と調整中でございます。そこが大きく変わります。

よろしくお願ひいたします。

○議長（**渋井由放**） 大谷まちづくり課長。

○まちづくり課長（**大谷光幸**） 私のほうからは、地域おこし協力隊事業費819万8,000円について、お答えをさせていただきたいと思ひます。

協力隊については、いろいろと御質問いただひているところがございます。特別交付税としての措置、最大で人件費280万円、それと活動費、最大で200万円、3年長く勤めていただくとお給料を上げさせていただひて最大で280万円に大体なるということで組ませていただひております。

人件費と活動費を中心に予算組みをさせていただひたものですが、今回初年度になりますので、そこまでの金額には達してないということがございます。

それと、なかなか協力隊も遠いところから急にやってくるので、最初のマッチングが難しいと言われてございます。なので、最初の2か月間だけは本当に合うのかどうかをマッチングしようじゃないかというインターン制度というやつです。これにしますので、給料がちょっと安かったり活動費が安かったりというようなことで、こういった金額になってございます。

よくある、人材が本当に採用できるのかというお話でございますが、過日、令和4年度の採用試験を行わせていただきました。2月の末でございました。そうしましたら、20代前半の若いお嬢さんがお見えになりまして、このお嬢さん、ウェブのデザインを勉強してきていたり、あとは最近やっぱりビジネスで必要だと言われるウェブとかSNSを使ったマーケティング、こういったところを非常に勉強されていて、とてもスキルもありますし、意欲もありますし、受け答えをしていて、とてもすばらしい、人間性が高いというお嬢さんでございました。内定をさせていただひて、今採用の具体を詰めているところでございます。ですので、1年半苦しみましたが、いい人材が何とか雇えそうだということでございます。

もう1名、何とかいい形で追加で募集をしていって、年度途中で雇えればなど。いい風がふいてきたと思ひているところがございます。

以上です。

○議長（**渋井由放**） 佐藤総務課長。

○総務課長（**佐藤博樹**） 予算概要書の、まず22ページ、市議会議員選挙費の公費負担、そのうちの公費負担だけまず申し上げます。

まず、立候補予定者数20名ほどで当初予算見込んで組んでおります。選挙運動用通常はがき頒布交付金は252万円、ポスター作成費は729万4,460円、ビラ作成費は60万800円、自家用使用料借入れ方式として221万2,000円、自動車運転手代として175万円、自動車燃料代として105万8,400円、この総額が1,543万5,660円

として公費負担を見込んでございます。

続きまして、23ページの七合保育園跡地の利用でございます。

庁内の委員会において検討してございます。あそこは、一団の市有地になっておりまして、当面は公有地として管理していくことがいいたろうということで対応しているところでございます。将来的には、関係者、関係機関、協議調整を行いながら方針を出していきたいとは考えておりますが、あそこだけ切り売りして売るとか、そういったのはあまり考えてございません。今のところは、当面、公有地として管理する方向で考えてございます。

それから、追加で質問があった点にまいります。

22ページの免許証返納の事故率の話でございますが、申し訳ありません、事故率について何%ほど75歳以上、何%というのはちょっと分かりませんので、これは後でまた調べて御報告申し上げたいと思います。

それから、概要書の21ページ、人材育成の中で、職員研修組んでございますが、管理職対象の研修はあるのかといったところでございますが、当然管理職もしっかりと入れさせていただいておりますので、管理職を含め、職員の資質向上に向けて取り組んでいるところでございます。

以上であります。

○議長（渋井由放） 深澤農政課長。

○農政課長（深澤宏志） 私のほうからは、棚田の維持についてお答えしたいと思います。

中山議員の一般質問でお答えしましたように、今現在、国見の棚田については耕作放棄地の状態にある現状でございます。2.2ヘクタール、50枚ほどの田んぼがありますが、実際に耕作しているのは、そのうちの4枚、30アールということで、その再生については、一般質問でお答えしましたように、茂木町の石畑地区、那珂川町で行っています小砂のオーナー制度なんかの導入なんていう話もございますけれども、いずれにしろ地元農家等の支援が必要でございます。地元の農家の意向を反映して、ぜひとも再生ということになれば、市の事業というよりは、県の事業の中で遊休農地再生事業支援事業なんかもございます。棚田の再生については、予算化はしてございませんけれども、引き続き、棚田の有効活用について、県の補助事業なんかも視野に入れながら検討してまいりたいと考えてございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） 中山議員から御質問をいただきました、予算概要25ページ、橋梁トンネル点検業務事業費でございます。

こちらにつきましては、県の指導の下、5年に1回のサイクルで点検を実施しております。

道路メンテナンス事業費補助金を活用しまして、道路施設等の長寿命化を図るために実施しているものでございます。令和4年度におきましては、橋が34橋、トンネルが2門ということで点検をする予定でございます。また、橋梁点検の結果、橋梁の高欄、手すりのほうの塗膜にPCBが含まれているのが判明をいたしました。こちらの対応ということで、神長地内におきまして、市道古屋敷萩田線というところの江川に架かる塙橋につきまして、PCBを除去し、新しく新基準の塗装をする工事を実施いたします。財源につきましては、過疎対策事業債を活用することとしており、工事費を約2,000万円見込んでおります。

続きまして、道路維持管理費につきましては、議員おっしゃるとおり、なかなか補修が追いつかない現状でございます。区画線にして見ますれば、薄く消えかかっている路線が相当数あるというのは私も確認をしております。雨の日や夜間の走行に支障を来すことも重々承知をしております。

しかしながら、このラインにつきましては、財源確保がなかなか難しいということで、現在は、交通安全対策特別交付金、こちらを活用してラインを引いているところでございます。計画性を持って整備をしてみたいと考えております。

また、側溝等につきましては、緊急自然災害対策事業債という対象になりますので、こちらを活用して、側溝整備については事業推進を図っているところでございます。

続きまして、概要26ページの集団移転事業につきまして、確実に事業を実施するというところでございますが、被害に遭われました地域の方々に寄り添いまして、不安の解消に努め、確実に事業推進できる計画を作成するというところで、令和4年度につきましては、その委託料を計上したところでございますので、御理解をお願いしたいと思います。

道路愛護会、河川愛護会の補助金の減につきまして、説明をさせていただきます。

昨年も、中山議員から同様に質問をいただきました。ほかの自治体の予算からして、高いから下げるというのではなく、実態をよく調査し、地域住民の協力に見合った形で金額を定めなければいけないということでアドバイスも受けております。

市としまして、補助金負担金の見直しを行っておりますこと、それから繰越金もありましたことから、引下げということになりました。令和4年度においても20万円の引下げとなりますが、これは最低の線ということで考えております。愛護会の実態としましては、高齢化によりまして愛護作業が大変だという自治会の相談も受けております。対応ができないような箇所につきましては、私ども直営の作業員が対応するというところも検討してみたいと思います。今回の減額につきましては、ぜひ御理解を賜りますようよろしくお願いいたします。

○議長（渋井由放） 田代教育長。

○教育長（田代和義） 烏山高校への補助につきましては、先ほど沼田議員のほうにお答え

したとおりですので、今後何らかの方策を考えていきたいと思いますので、また御助力いただければと思います。

よろしく申し上げます。

○議長（渋井由放） 高田上下水道課長。

○上下水道課長（高田 勝） 予算書の241ページになります。

農業集落排水事業、当面の課題とするところはないかというところで、大規模修繕について、おおむね1,000万円以上の金額は、当面、今のところはございません。

今のところ、2年、3年にかけて最適化整備構想に基づき、老朽化した機器等の修繕計画を立てているところでございます。

次に、261ページ、下水道事業、浸水対策は万全かというところで、簡易止水板の設置の訓練を実際に実施しております。実施の際、やはり、きちとはまらないところがあったりするところがありまして、土嚢を活用してやっていかないと駄目だなというところで分かっております。浸水対策はできていると考えております。

次に、285ページの水道台帳システム導入でございます。令和3年度、水道本管図のデジタル化を行っております。令和4年度は、基本ソフトパソコンを導入し、管路データを構築します。総延長は437.5キロメートルです。

水道管更新事業計画、こちらの計画は令和元年度に策定済みでございます。こちらの計画は、21年間の計画となっております。令和2年からの計画でしたが、台風災害で2年については実施できませんでしたので、後ろ送りになっております。実際の工事は、漏水が頻発する箇所が多数見られますので、なるべくそちらを優先して、計画のものについてはちょっと後送りな状態になっております。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 1点、予算書98ページ、その他の特別職の答弁が抜けておりましたので、人数が多いところからいきますと、まず、消防団員600人程度予定しております。それから、農業委員、農地利用最適化推進委員、鳥獣被害対策実施隊、これらを含めると100名近くなります。そのほかに参議院選挙、市長市議会議員選挙、その立会人等に係る報酬、そういったものが大半を占めているところでございます。

以上です。

○議長（渋井由放） 15番中山五男議員。

○15番（中山五男） これ、課長さん方に対して私の願望を申し上げたいと思います。

これは人事管理に関することなんですが、どうも私、課長さんに皆さんついてから、人間が

少々小さくなったような気がするんです。課長職に就きますと本当に孤独です。大変なことがいっぱいあります。だから、結局は指示待ちちゃうのかなと思いますが、もっと堂々と自信を持って課長職に全うしていただきたいと。

以上です。

○議長（渋井由放） 暫時休憩いたします。16時に再開いたします。

休憩 午後 3時50分

再開 午後 4時00分

○議長（渋井由放） 休憩前に引き続き再開いたします。

どなたかいらっしゃいますか、質疑。

16番高田悦男議員。

○16番（高田悦男） 16番、高田悦男でございます。

同僚議員が質疑をしていますので、私は補足的な件について話をしたいと思います。

まず、概要で言います。3ページです。トンネル照明ですが、これは、三箇トンネル、小白井トンネルと連続してございます。ですから、1度トンネルに入って、また目が慣れたと思ったら次のトンネルということで、照度が低い点では非常に危険でございます。そのために、十数年前だと思うんですが、耕運機で、いわゆるトレーラーを運転していた方に追突してしまったんです。それで死亡事故が起きまして、非常に痛ましい事故でした。それも、やはり照度不足です。

そのために、私は提案するんですが、車道と縁石の部分を分けるための目印、つまり、反射テープとか反射板、それを縁石の部分に取付けたらいいんじゃないかと思うんです。先ほど、どなたか同僚議員からもあったと思うんですが、手すりがないんですよね、あそこの歩道は。ですから、あの中を走っていると、我々も側面に衝突するのではないかと、寄り過ぎていてのではないかと、つい錯覚を起こすんです。ですから、その点について可能かどうか答弁をお願いいたします。

続いては、八溝そば推進事業は了とします。

道路整備事業の件についてお尋ねいたします。

下柏崎志鳥線については、一般質問で同僚議員に答弁がありました。問題は、辺地債の元祖と言われる田野倉曲畑線の改修なんです。もうこれは歴史がありまして、約20年近くかかっていると思います。毎年5,000万円ぐらいの予算がついたんですが、今年は聞くところによると予算がついていないような感じなんです。この点についてお尋ねをいたします。

あと、4ページ、旧熊田小学校の解体、これは、昨日現地確認してきました。公民館と校舎

が並んでおります。それで、校舎のほうには、現在何も入っていないそうです。それを解体するということですので、問題はないかと思えます。解体した後の土地の利用は、公民館の駐車場、あるいは熊田診療所の駐車場、この診療所がいっぱいになるぐらいお客さん来てくれば、多分、問題は解決するんだらうと、そのように思えます。

8ページの旧境診療所、現在、那須南森林組合の事務所で行っているレインボーハウスです。これの引っ越し先になるそうですが、500万円で、いわゆる教室と職員室、これらを整備して、あるいはトイレも多分複数つくるのではないかと思うので、この辺の500万円で予算が足りるかどうかお尋ねいたします。

以上です。

○議長（渋井由放） 佐藤都市建設課長。

○都市建設課長（佐藤光明） 三箇と小白井、2つのトンネルにつきまして、先ほど矢板議員からも御質問ありまして、車道と縁石で高くなっています、歩道的に使える部分、管理用道路がございます。そちらに反射板とかをつけ、走行中、よく見えるようにしてはどうかという御提案でございます。

今回、LED化も進めますことから、そちらにつきましても検討し、対応していきたいと考えますので、よろしくお願いたします。

それから、道路整備事業で実施しています辺地道路整備事業でございます。

こちらにつきましては、辺地債ということで2路線実施をしております。しかしながら、車の交通量等を鑑みますと、どうしても八溝グリーンラインのほうが圧倒的に多いということで、そちらを先に終了し、その後は田野倉曲畑線に変えるというところで考えております。令和4年度におきましても、田野倉曲畑線につきましても工事は実施するというところで考えております。なかなか延長が進みませんが、田野倉曲畑線につきましても、重要な道路でございますので、整備を進めてまいりますので、御理解をお願いしたいと思います。

○議長（渋井由放） 水上生涯学習課長。

○生涯学習課長（水上和明） 旧熊田小学校の解体の後の跡地利用でございますが、先ほど沼田議員にもお答えしましたとおり、地域の自治会などと相談協議をしまして、有効に活用できるように検討してまいります。よろしくお願いたします。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） 旧境診療所改修工事等につきましてですけれども、まず、こちら、令和2年度から、旧境診療所を移転先と考えまして、どのように有効活用できるかどうかということに関係機関と打合せをしております。使用する部屋、使用しない部屋、こちらを区別いたしまして、使う部屋としましては、旧医務室を職員室、旧治療室を学習室、それ

と倉庫を子供たちのロッカー室にすることで現在詰めております。お話ありましたトイレにつきましても、トイレの箇所は複数ありますので、使用するトイレ、しないトイレということで区別をして使用していきたいと考えております。

500万円の当初予算の計上ですけれども、令和4年度、移転するに当たりましては、この500万円でスタートさせていただきたいと思います。エアコンの設置がまず第一ですので、夏は越せませんので、まずそちら設置を優先として、500万円の中で令和4年度は対応していきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 16番高田悦男議員。

○16番（高田悦男） それでは、まず、3ページのトンネル照明については、できる限りの反射テープや反射板で対応していただきたいと思います。こんなにトンネルが続いてあるのは、高速道路ぐらいですよ。ですから、さっきも言いましたように、視力が慣れたところで次のトンネルという、非常に場所が、条件が悪いというか、特に高齢者には悪く感じます。ですから、ぜひお願いします。

次の田野倉曲畑線につきましては、グリーンラインを優先するということで了解はしたいと思うんですが、田野倉曲畑線も、あと少しで坂の頂上にたどり着くんです。あそこまで何とか早くやっていただきたい、このように地元の住民は願っております。

旧熊田小学校の解体については、了とします。

ただ、これも、熊田診療所がもう少し診療増につながるように、工夫をぜひお願いします。

あと、旧境診療所の改修工事ですが、普通なら校庭が必要なんですけど、校庭というか、遊び場は必要ないと考えているんでしょうか。

それと、那須南森林組合の事務所をお返ししますよね。これを返すに当たって、何か改修工事とか必要ないのかどうか、お伺いいたします。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） まず、校庭が必要かどうかということですけど、まずは、校庭は必要だと考えております。やはり、外で遊ぶことによってメンタル的な部分が改善されるという話も聞いておりますので、校庭の必要性はあります。ただ、令和4年度スタートするに当たりましては、移転ということがまず第一ですので、校庭の代わりに、例えば今、河川敷に行って遊んでみたりとか、そういった行為をしていますので、今現在のところでは、そういったことで対応していきたいと考えております。

それと、現在お借りしております那須南森林組合事務所の、こちらの移転するに当たっての工事等についてなんですけれども、現在使用している電気等につきましては、配線をしている

だけです。ですので、大々的な工事をするには特にありませんので、現在置かせていただいている機材等をそのまま旧境診療所のほうに移転をさせたいということだけで考えております。

以上です。

○議長（渋井由放） 16番高田悦男議員。

○16番（高田悦男） 了解。

○議長（渋井由放） 続いて、17番平塚英教議員。

○17番（平塚英教） あらかじめ出したものがあまりにも多くて、全部最後まで行くかどうか分かりませんが、予算書の概要版の、まず5ページからいきます。

児童福祉事業費ということで、同僚議員のほうでもある程度の答えにはなったかと思うんですが、副食費の助成及び子育てのための施設利用給付事業の助成等ということでございますが、その内容説明、取りわけ何人分という人数が分かればいいです。

次に、放課後児童健全育成事業費でございますが、これについてもほかの議員からも質問が出ました。おおむね、新年度はそれぞれの児童クラブで何人ずつ放課後児童クラブをやろうとしているのか。なおかつ、コロナ対策の状況の中で、どんな対策が取られているのか、簡単で結構ですので答弁をお願いいたします。

次、ようこそ！なすから赤ちゃん応援事業費ということで、事業内容及び対象人数の説明をお願いいたします。

次に、子育て支援センター事業費、支援センターの運営状況と対象人数を教えてください。

次に、子育て支援の、下に行きますが、一般型事業費ということで、センターの運営及び移動出前サロン及び対象人数等を教えてください。

次に、特別保育事業費ということで、この運営状況及び対象人数を教えてください。

次に、不妊治療助成でございますが、これは先ほど説明がありましたので、結構です。

次、子育て世代包括支援センター事業総務費ということですが、センターの運営状況及び対象人数について教えてください。

次に、質問には出しておきませんでしたが、その流れの中で、5ページの妊婦健診支援事業費65万1,000円、この事業内容についてはどういふものか、教えてください。

次、育児支援事業費、この相談件数及び内容等、これまでの実績や新年度への取組対策についてお示しください。

次に、妊産婦健康診査・産後支援事業費ということで、事業内容と仲間づくりの対策、対象人数について教えてください。

幼稚園管理費、これも最初と同じでございますが、副食費の助成内容及び対象人数について教えてください。

次に、若者交流事業、結婚支援センターの運営状況と登録者数、新年度の事業方針について教えてください。

次、この地域おこし協力隊については、先ほど中山議員のほうに答弁があったので結構です。

次、適応指導教室でございますが、これは高田議員のほうにも説明がありましたけれども、対象人数、これについて、新年度の人数が分かれば教えてください。

次に、消防団活動費でございますが、野火焼き関係が今年中止になりまして、野火焼き中止については農政課の所管と聞いておりますが、消防団が野火焼きの災害が起きないように支援対策をしているわけですが、消防団のこの野火焼き活動が終わった後の反省会のところで、コロナが、クラスターが起きないようにということで、これが中止になったんだとすれば、他の自治体では既に実施しておりまして、最近、いわゆる野火焼きを元にした火災があちこちで出ていますよね。そういうことにも発展してまいりますので、やはり野火焼きはやったほうがよかったかと私は思うんですけども、この点についてどんなふう考えているのか説明をお願いします。

次に、介護保険関係でございますが、昨年8月から、低所得者を対象とする食費、居住費の軽減措置が縮小となりまして、8月から、特別養護老人ホームなどの利用料が上がりました。入所者や家族に大変な負担となっております。要するに、預貯金等の資産状況で認定から漏れるということになっております。これで何人ぐらい、8月以降の軽減措置縮小に伴って、非課税世帯で年収が80万円以下だった場合に、預貯金等があって、それを該当しなくなったという方が何人いたのか。食費と居住費で、最高の負担額が月幾らになっているのか。さらに、食費等の見直しで、認定から漏れた方、認定から漏れて負担が増えた方、それが何名いたのか。それらの内容についてお示しをしていただきたいと思います。

最後に、コロナ禍における、いきいきサロンの運営状況、これは予算書の54、55ページにあるのではないかとと思われるんですが、概要書にも書いていませんが、非常にお年寄りの皆さん、これを楽しみにしているんですけども、コロナ禍ということで、これが実施が厳しくなっているということで、このいきいきサロンの対象団体数とか対象人数が分かれば、お知らせください。

以上です。

○議長（渋井由放） 平塚議員に申し上げます。

消防団活動費の農地の野火焼き中止については、所管である経済建設常任委員会をお願いできればと思います。

○17番（平塚英教） それはそこで聞きますが、消防団の反省会でクラスターが発生してはまずいということで中止になったのかということ、所管の総務課のほうにお聞きしたいと

いうことです。

○議長（渋井由放） 了解です。

答弁願います。川俣こども課長。

○こども課長（川俣謙一） 通告書の順番に説明したいと思います。

まず、概要の5ページ、児童福祉事業費、副食費の助成及び子育てのための施設等利用給付事業費の助成等の内容について説明いたします。

まず、つくし幼稚園以外の副食費につきましては、3歳児から5歳児は、第三子以降や所得等による免除対象者以外は月4,500円程度の副食費がかかります。市では、令和4年度から副食費に対して月2,000円を補助し、子育て支援の一環として保護者の負担軽減を図ります。内訳としましては、2,000円掛ける12か月掛ける230人、552万円を計上しております。

次に、子育てのための内容ですが、預かり保育、あと認可外保育施設等の利用費を無償化するための制度です。民公幼稚園、あと認可外保育施設、預かり保育事業、一時預かり事業に対し、合計203万円を助成いたします。

次に、同じく放課後児童健全育成事業費、こちらは9クラブありますが、支援員につきましては、30名以上での対応になります。コロナに対する対応ですが、通常対応はもちろんのところなんですけど、まず、屋外遊びから帰ってきたときのおやつを食べるときには手洗い、あと、パネルを使用し静かに食べることになりませんが、今年の1月については、既におやつ代を徴収してしまったということもありますので、個別包装のおやつを出して、それを持ち帰っていただいております。あと、2月、3月は、おやつ、中止としています。これは、やはりおやつを食べるときにマスクを外すということがあるので、なるべくその機会をなくすということでそういう対応をしております。あと、ほかには空気清浄機、各学童のほうに設置してあります。

次に、3つ目、ようこそ！なすから赤ちゃん応援事業費、こちらは、令和3年度からの事業で出生を祝福し、また、誰もが安心して子育てができるよう、保護者の経済的負担を軽減して、子供の健やかな成長を応援するため、おむつやミルク等の購入に使用できる子育て応援券を交付する事業となっております。金額としましては3万6,000円分で、転入者につきましては、転入から1歳になるまでの月数に、一月3,000円を乗じた金額となっております。対象者人数は、90人を見込んでおります。参考としまして、今年度は、今現在80件が交付されております。

次に、4点目、子育て支援センター事業費、この支援センターの運営状況と対象者数ですが、まず、運営状況ですが、子育て中の母親の抱える不安や悩みの解消を図り、安心して子育てので

きる地域の実現を資する事業となります。場所は、にこにこ保育園内で、きらきらの名称で実施しております。対象人数につきましては、令和4年度につきましては、事業に対する講師謝金やステージ公演料ですので、参加人数というものは不確定となっております。

参考までに申し上げますと、令和3年度、8月、9月、1月、2月、3月休館になっておりますが、子供55名、大人42名、計97名となっております。コロナの影響がなかった令和元年度、子供が697名、大人が628名、合計で1,325名となっております。

次に、5つ目、特別保育事業費、運営状況及び対象者数です。

運営状況は事業内容で、対象者数につきましては対象施設名でお答えしたいと思います。

事業内容は、病児保育を那須南病院に委託している経費や、私立保育園等で実施する子育て支援事業に対しての補助金となります。那須南病院の病児保育の委託料は808万1,000円です。特別保育事業費4,427万4,000円となりまして、対象の園は烏山保育園、烏山みどり幼稚園、未来の風保育園、ゆうゆうランド那須烏山園、烏山聖マリア幼稚園、キッズランドあさひになります。

あと、保育対策総合支援事業費1,288万6,000円となります。対象施設、烏山保育園、烏山みどり幼稚園、烏山聖マリア幼稚園、キッズランドあさひとなっております。

6番目、子育て世代包括支援センター事業総務費、センターの運営状況及び対象者数です。

センターの運営状況ですが、こちらは平成29年度に設置されまして、利用者支援事業を活用し、子育ての切れ目のない支援をしているところです。妊娠届出時の相談、あと保育相談、特別支援相談等、幅広い分野で相談等を展開しておりますが、子育て世代包括支援センター事業総務費につきましては、各事業に携わる会計年度任用職員、こちら看護師になりますが、2名の人件費と事務費となっておりますので、対象者等はないような予算計上となっております。

この後、追加の質問での妊産婦健康支援事業費、こちらの事業なのですが、目的としましては、母子保健法に基づいて、母子健康手帳を交付し、母子管理票を作成し、妊娠から出産、育児までの切れ目のない支援、管理を行うところですが、通常予算でありますと、報償費としまして、妊婦産後ママサロン、思春期ふれあい教室であったり、あとは消耗品、印刷製本費なのですが、今回新たに育児支援アプリを導入するものが新規となっております。こちらは、母子手帳はもちろんなのですが、矢板議員からもありましたとおり、父子手帳であったり、あと市長のほうで言っていたファミリー手帳、そういったものを、このアプリを通して、昔と今の子育ての違いであったり、そういったものを説明する機会であったり、あとは乳幼児健診、そのスケジュール管理、あと子供の成長の数値、いろんなものが管理できるということで、これを導入したいと思っております。

次に、地域子育て支援一般型事業費、運営状況及び移動出前サロン及び対象者人数ですが、こちらはこども館事業となります。こども館で実施している地域子育て支援一般型事業は、地域の子育て機能の充実を図ることで、子育て中の保護者の不安感を緩和し、子供の健やかな育ちを促進するために開設し、子育て中の親子が気軽に集えて、相互に交流を図る場として提供しております。

具体的には、子育てサポート教室事業、びよびよ広場という名前ですが、あと歌の教室事業、音を鳴らして遊ぼう、ヨガ教室、親子で楽しくヨガ教室、体操教室、親子で体操でスキンシップ、あと管理栄養士の講話等を実施しております。令和3年度は、コロナの影響でほぼ実施することができませんでした。

次に、育児支援事業費、相談件数及び内容等、これまでの実績と新年度の取組ですが、まず、相談関係としましては、離乳食相談、2歳6か月相談、5歳児相談、5歳児発達相談、みかん教室等を実施しております。今年度の相談件数の実績は、離乳食相談、15回開催中、参加実数は12組で27人、延べ人数は15組で31人となっております。2歳6か月相談は毎月1回実施しておりますが、8月、9月、1月はコロナの影響で中止となりまして、対象者数114名中、受診者は72人です。5歳児相談、こちらも毎月1回実施しておりますが、8月、9月、1月、2月、コロナの影響で中止となりまして、対象者数129名中、受診者は76人となっております。5歳児発達相談、各保育施設で実施になりますので、対象者132人中、受診も同じく132人となっております。みかん教室、年9回開催予定でしたが、コロナの影響で5回の開催となりました。対象児は16人で、延べ参加児童は69人、延べ参加親子になりますと138人となります。

新年度の取組としましては、食育推進事業、名称としまして、親子食育教室というものを実施したいと思っております。対象者は、5歳児とその保護者です。内容としましては、朝食の大切さ、あと3つの食品群、黄色、赤、緑が整ったバランスのよい食事を理解するなどのテーマで実施していきたいと思っております。

妊産婦健康診査・産後支援事業、こちらにつきましては、事業の内容と仲間づくり対策、あと対象者数ということですが、妊産婦健康診査は、妊産婦の健康管理の充実及び経済的負担軽減のため健康診査費用の助成を行い、養育支援を必要とする妊産婦に対して、適切な保育指導に対して指導を行っているところです。対象者は95人を見込んでおります。

産後ケア事業につきましては、産後早期から心身の状態を確認し、支援が必要な産婦に対して支援を提供する事業で、産後の母親と赤ちゃんの生活リズムと心身の安定を図るため、産科医療機関において、宿泊や日帰りで休養や助言、沐浴や授乳指導が受けられるための医療機関に対する委託料48万円を計上しております。対象者は、宿泊型で15人、日帰り型で10人

を見込んでおります。

産前産後サポート事業につきましては、出産後、ベビーマッサージを体験しながら、産婦が集まれる場として、また、産婦の心身の不調や育児不安を相談できる場として、助産婦、保健師による集団での支援を行っております。令和3年度より、おひさまとの名称で開催しております。対象者は、予算の中では想定しておりませんが、令和3年度の実績としましては、12回開催予定でしたが、コロナの影響で7回の実施となりました。参加者は27人でございました。

幼稚園管理費、助成内容は児童福祉と同様ですが、こちら、つくし幼稚園の園児に対するもので、免除対象者以外は月2,625円程度の副食費がかかります。市では、令和4年度から、副食費に対して月1,000円を補助し、保護者の負担軽減を図りたいと思っております。金額としましては、1,000円掛ける12か月掛ける35人、42万円を予定しております。

次に、若者交流事業費、結婚支援センターの運営状況と登録者数、あと新年度の対策なんです。まず、結婚支援センターの運営状況ですが、こちらは、県と、あと各市町、あと関係機関で設立した、とちぎ未来クラブが運営する栃木結婚支援センターのことを指しておりますので、運営状況はちょっと把握しておりません。結婚支援センターの登録者数ですが、2月末現在、那須烏山市民においては28名、センター登録の全体としましては、2,103名、男性が1,351名、女性が752名となっております。

参考までに、本市で成婚となった実績は、平成30年度に1名、令和2年度に1名の2名となっております。

新年度の対策ですが、市内団体による婚活パーティー等がコロナの影響で開催できませんでしたので、令和4年度は、コロナもよい方向に向かい、開催できることを願っております。また、今年度はコロナの影響もあるため、結婚オンラインセミナーを、YouTube動画により無料でウェブ公開をしまして、453名の閲覧をいただきましたが、コロナ禍でもできることを模索してまいりたいと思っております。併せて、栃木結婚支援センター登録補助金のPRにも努めたいと思っております。

以上です。

○議長（渋井由放） 大鐘学校教育課長。

○学校教育課長（大鐘智夫） それでは、適応指導教室、こちらの対象と人数ということですけれども、まず対象ですが、那須烏山市と那珂川町の小中学校の不登校傾向のある児童生徒が対象となります。現在、令和3年度なんですけれども、通室を希望している児童生徒は15名います。ただし、その中でも、やはり来れないという方がいらっしゃいます。常時、今、通室している児童生徒は4名です。来年度につきましても、こちら、例年15名程度で推移し

ておりますので、令和4年度についても人数はあまり変わらないのかと思っております。

以上です。

○議長（渋井由放） 佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 消防団の活動費の中の御質問ですが、消防団の活動理由に野火焼きの中止を要請した事実はありません。

○議長（渋井由放） 皆川健康福祉課長。

○健康福祉課長（皆川康代） 介護保険の施設における負担限度額が、令和3年8月1日から変わりました。こちらにつきましては、在宅で暮らす方との食費、居住費に係る公平性や、負担能力に応じた負担を図る観点から、一定額以上の収入や預貯金等をお持ちの方には、食費の負担額の見直しが行われたというものでございます。介護保険施設の入所者、それからショートステイ利用者の日額食費の負担限度額が増額となりました。

この変更になった方につきましては、7月までは650円だった食費、入所の場合650円だった食費が、8月以降は1,360円となりました。

この中で、議員御質問の、資産等の状況等で認定にならなかった被保険者ですけれども、3月末現在で一人でございます。このお一人につきましては、もともと施設に入っていた方ではなくて、在宅だった方が施設を入所された段階で申込みをされて、資産の条件が、要は上限額を超えているということで該当にならなかったものでございます。

それから、食費負担額の見直しで増額となった認定者ですけれども、こちらが89名いらっしゃいます。この89名になった方につきましては、日額650円から1,360円に改正されたことで、月額2万2,010円の増額となったというところでございます。

次に、いきいきサロンについてです。

いきいきサロンについては、こちらは介護保険の特別会計の中に予算がございます。予算書で言いますと、228ページ、229ページでございます。

229ページ、こちらにつきましては、いきいきサロンにつきましては、65歳以上の方でしたらばどなたでも対象とすることができます。介護予防の事業ということで行っております。自治会の協力によりまして、身近な公民館等で月1回から4回実施しております。運営につきましては、介護予防サポーター33名の御協力と、市の職員によって運営がされております。令和4年3月現在で、38か所で行っております。すみません、利用者の方については、ちょっと手持ちに資料がないので、38か所ということでお願いしたいと思います。

コロナの対策といたしましては、まず、令和2年6月に、厚生労働省から、通いの場を開催するための留意点というものの、それが、運営をする方用、それから利用する方用というものの指針が出されております。それを基に、スタッフを対象としたコロナ禍の運営方法、感染対策、

それから運動法等の研修を実施してございます。

また、ふれあいの里や自主サロンを含めて、市内の約9割の自治会で介護予防が実施されております。

今後、継続支援とともに、未実施地区への働きかけ、サポーターの養成、そこからまたふれあいの里への移行を進めながら行っていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 17番平塚英教議員。

○17番（平塚英教） 大変詳細な説明ありがとうございました。

まだ私が飲み込めていない、分からないものがいっぱいありますので、それぞれ分からないところは担当課のほうに行ってお聞きしたいと思いますので、よろしく願いいたします。大変ありがとうございました。

○議長（渋井由放） ここで、総務課長より答弁がございます。

佐藤総務課長。

○総務課長（佐藤博樹） 先ほどの中山議員から、免許証返納の中で年代的な割合の話をされたかと思うんですが、それが今段階で分かったものについて御報告申し上げます。

令和3年1月1日から令和3年12月31日までで、正式に発表されているものと、那須烏山市では、交通事故の発生件数は29件、全体の発生件数は29人、そのうち高齢者は17件、全体の割合は58.6%が高齢者、そのうちさらに死亡1件あったんですが、その死亡は高齢者です。100%。それから、負傷された方42名おるんですが、そのうち高齢者は14人、負傷割合は33.3人、それが栃木県本部が把握している現段階の状況でございます。

それ以外の年代別については、現在調整しているところですが、正確な数字はまだ把握できていませんので、分かったときにまた後日お知らせしたいと思います。

以上です。

○議長（渋井由放） お諮りいたします。

ただいま上程中の議案第1号から議案第8号までの令和4年度当初予算については、所管の常任委員会に付託したいと思います。御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（渋井由放） 異議なしと認めます。

よって、議案第1号から議案第8号までの令和4年度那須烏山市一般会計予算、令和4年度那須烏山市国民健康保険特別会計予算、令和4年度那須烏山市熊田診療所特別会計予算、令和4年度那須烏山市後期高齢者医療特別会計予算、令和4年度那須烏山市介護保険特別会計予算、令和4年度那須烏山市農業集落排水事業特別会計予算、令和4年度那須烏山市下水道事業特別

会計予算、令和4年度那須烏山市水道事業会計予算の8議案については、それぞれの所管の常任委員会に付託します。

◎日程第2 決議案第1号 ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議について

○議長（渋井由放） 日程第2 議案第1号についてを議題といたします。

事務局長に朗読させます。

○議会事務局長（菊地唯一） 決議案第1号 ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議について。

上記について、別紙のとおり提出する。

令和4年3月7日提出。

提出者、那須烏山市議会議員、相馬正典。賛成者、那須烏山市議会議員、矢板清枝、賛成者、那須烏山市議会議員、滝口貴史。

以上でございます。

○議長（渋井由放） 次に、提出者の趣旨説明を求めます。

10番相馬正典議員。

〔10番 相馬正典 登壇〕

○10番（相馬正典） 10番相馬正典であります。

ただいま上程されました決議案第1号について、提案の趣旨を説明いたします。

ウクライナをめぐる情勢については、昨年末以来、国境付近におけるロシア軍増強が続く中、我が国を含む国際社会が緊張の緩和と事態の打開に向けて懸命な外交努力を重ねてまいりました。

しかし、2月21日、プーチン・ロシア大統領は、ウクライナの一部である自称ドネツク人民共和国及びルハンスク人民共和国の独立を承認する大統領令に署名し、同24日、ロシアはウクライナへの侵攻侵略を開始しました。

このようなロシアの行動は、明らかにウクライナの主権及び領土の一体性を侵害し、ウクライナ国民に恐怖を与え、平和のうちに生存する権利を侵害するものであり、武力の行使を禁ずる国際法の明確な違反であります。

さらに、武力による威嚇及び武力の行使を禁ずる国連憲章にも反するものであります。

この事態は、欧州にとどまらず、日本が位置するアジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがす極めて深刻な事態であります。

那須烏山市は、平成18年12月5日、核兵器をなくし恒久平和を実現することは人類共通

の願いであり、世界で唯一の被爆国である我が国は、これを世界に強く訴えていかねばならず、私たち那須烏山市民は、歴史と伝統に育まれてきたこの美しい郷土を守り、平和な世界を実現するため、あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を求めて、非核平和の市を宣言いたしました。

よって、那須烏山市議会は、日本国憲法が掲げる平和主義の下、ウクライナの主権、一体性、独立を尊重し、国際社会の恒久平和を世界に訴えつつ、日本政府が経済制裁や人道支援において国際社会と一致した措置を取ることを支持するものであります。

重ねて、ロシアに対し、核兵器による威嚇や使用は断固として認めず、ロシア軍は即時に攻撃を停止し、部隊をロシア国内に撤収するよう強く求めるものであります。

以上をもって提案の趣旨説明といたします。

○議長（渋井由放） 以上で、提出者の趣旨説明が終わりました。

これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（渋井由放） 質疑がないようですので、議長において議事を進行し、これで質疑を打ち切ることに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（渋井由放） 異議なしと認めます。

これより討論に入ります。

まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（渋井由放） 次に、賛成討論の発言を許します。

〔「なし」の声あり〕

○議長（渋井由放） 討論がないので、これで討論を終結いたします。

採決いたします。

日程第2 決議案第1号 ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議について、原案のとおり決定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（渋井由放） 異議なしと認めます。

よって、決議案第1号は原案のとおり可決されました。

---

○議長（渋井由放） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。次の本会議は、3月15日火曜日午前10時に開きます。

本日はこれで散会いたします。御苦労さまでした。お疲れさまでした。

[午後 4時48分散会]